

主要な施策の成果報告書

はじめに

恵庭市では、「花・水・緑 人がつながり夢ふくらむまち えにわ」を将来都市像として位置づけた「第5期総合計画」及び、人口減少に負けないまちづくりを目指し、ガーデンデザインプロジェクトを主要事業として位置づけた「総合戦略」を道標とし、将来に亘り多くの方々が住みたくなる、住み続けたくなるまちを目指しまちづくりを進めてきております。

全国的に人口減少が進む中において、これらの取組を着実に進めてきた成果として平成30年度は人口が179人増加しており、人口ビジョンに掲げる7万人が目前となっております。

一方、財政面では、平成30年度「地方財政計画」において平成20年度より計上されていた歳出特別枠が廃止されたものの、地方の一般財源総額については平成29年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に確保することとされました。

しかし、恵庭市では、今後も社会保障経費やアウトソーシングによる物件費等の増加が続く見込みであることから、平成30年度予算では一般財源配分要求額にシーリングを設定したほか、国や北海道の補助金やふるさと納税による寄附の有効活用を見込んだものの収支不足が生じたため、財政調整基金の繰入を余儀なくされました。その様な状況のもと、第6次行政改革推進計画の3つの柱に基づく取組を行いながら「恵庭の更なる可能性を追求する平成30年度予算」として、重点施策に次の5本の柱を掲げて編成いたしました。

- 1 次代を担う子ども達の成長を地域全体で支えるまちづくり
- 2 誰もが住み慣れたまちで健やかに暮らせるまちづくり
- 3 豊かな自然と調和し便利で快適に暮らせるまちづくり
- 4 安全で安心して住み続けることのできるまちづくり
- 5 恵庭の強みと可能性を活かした魅力あるまちづくり

決算を迎えるにあたり、市税や地方交付税の収入が予算を上回ったこと等の要因から、財政調整基金の繰入は一部取り止めたものの、ごみ焼却施設の供用開始等を目前に控え、経常収支の確保については依然として大きな課題となっております。

次頁からは、これまでの行政目的の達成状況や今後の予算編成の参考とするため、平成30年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」として、まとめましたので報告いたします。

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標01 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

各町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、緑と語らいの広場複合施設「えにあす」を新たな市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

・市民活動支援補助金 (P. 60)	2, 196千円
まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (25団体 21事業)	1, 854千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金 (7団体 7事業)	342千円

・恵庭市市民活動センターの運営 (P. 64)

市民活動団体の自主的かつ主体的な活動の総合的支援拠点である「市民活動センター」において、「恵庭市市民活動センター運営協議会」とともに市民活動団体の活動支援を行いました。また、同協議会のNPO法人化を支援し、市民活動を行いやすい体制を整え、さらなる活性化を図りました。

平成31年3月31日現在会員数165 (団体102 個人19 企業44)

・ふるさと納税推進事業 (P. 62~63)

199, 909千円

市外に住所地を有する個人寄附者への返礼品のラインナップの拡充や昨年度寄附者に対する恵庭市の魅力発信PRはがきを送付したことなどにより、寄附の拡大、恵庭の情報発信や地元産品の消費促進につながりました。

平成30年度ふるさと納税 26, 231件 寄附総額336, 100千円

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

・地域会館整備事業支援 (P. 59)

4, 106千円

恵南会館改修工事 他

・地域会館維持管理・自治活動支援 (P. 59)

29, 878千円

地域会館維持管理費補助金 1, 381千円

会館借り上げ費補助金 1, 357千円

(島松旭町、島松東町、恵央町、相生町、末広町)

自治活動交付金 23, 336千円

地域会館整備補助金 (黄金南曙会館耐震改修工事) 3, 305千円

地域会館建物解体補助金 (春日北星会館解体工事) 499千円

・「えにわ知恵ネット」事業 (P. 60)

登録団体数 104団体 (団体73 個人31)

平成30年度新規登録数 4件

・地域担当制の実施

平成28年度から3名の地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・地域担当者会議
- ・生活環境改善要望（199件）
- ・町内会の合併に向けた協力（穂栄町内会・北島町内会）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

目標02 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・行政評価による事務事業の大胆な見直し

第5次行政改革推進計画における事務事業評価により「改善・見直し」の評価となった事業について、改善状況を点検、整理したほか、市役所本庁舎外4施設の事務事業評価を行い、行政評価報告書（中間報告書）を作成し、今後の方向性について整理しました。

・過年度事務事業評価の進捗管理

再点検事業 27事業のうち完了13事業（継続管理14事業）

継続管理となった14事業は「完了ポイント」を設定し見直し作業を推進

- ・本庁外4施設の事務事業評価
- 評価対象事業 11事業

・民間活力の活用（PPPの推進）

指定管理者制度導入施設の次期更新に向け、導入施設から3施設を抽出し、効果の詳細な検証、評価を行い今後の方向性について整理したほか、全委託業務の状況確認のため、性質調査により分類整理し、持続可能なまちづくりのための行政経営の実現に向け取り組みました。

また、恵庭市PPP/PFI手法導入を優先的に検討するための指針を策定し、取組みの強化を図りました。

・公共施設の有効活用（公共マネジメント）

公共施設等総合管理計画の実施計画を策定（削減目標3%）し、計画の推進に努めました。

- ・実施計画における公有財産面積 259,775.97㎡
- ・削減面積の累計 3,779.50㎡（△1.45%）
- 平成30年度削減面積 746.51㎡（新町車庫解体工事、旧児童館売却等）

・職員研修の充実

恵庭市人材育成プログラム検討委員会において、職員研修の具体的な取り組みやあり方について検討を行い、人材育成基本方針及び職員研修計画に基づき、行政評価による事務事業の見直し、行政の変革など地域課題への確に対応することができる人材の育成に努めました。また、他市との合同研修を新たに企画・実施したとともに、職員の指導能力の向上や適切な業務の遂行かつ継続性を図ることを目的に、OJT計画の試行を行いました。

- ・他市合同研修（プレゼンテーション研修、クレーム対応研修）
- ・一般研修（階層別研修外）
- ・特別研修（接遇研修、コンプライアンス研修、プレゼンテーション研修外）
- ・ペーパードライバー・安全運転研修
- ・先進都市派遣研修

・札幌広域圏組合の事業推進 (P. 61)

427千円

札幌広域圏組合を通し、職員研修のほか移住促進や観光客を呼び込む地域振興イベント、特産品のPR活動などを石狩管内の構成8市町村のスケールメリットを生かし展開しました。

また、同組合の解散（令和元年7月末）にあたり、新たに札幌市を含む近隣12市町村で形成したさっぽろ連携中枢都市圏に参画しました。

職員研修・研究事業：共同研修（札幌広域圏組合共同研究事業）

情報発信事業：広報事業

人材・文化交流事業：ジュニアコンサート事業

逸品発掘事業：物販イベント

移住促進事業：首都圏移住フェア

婚活支援事業：バスツアー、専属ライターによるFacebookの定期更新

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

平成30年度も引き続き市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納を実施し、曜日や時間を問わない収納を行うとともに、平成28年度から開始したインターネットを利用したクレジットカード納付を普及推進し、更なる利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

(納付件数/納税義務者数)

	市・道民税（普徴）		固定資産税		軽自動車税		国民健康保険税			
	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29		H30	
1期(6期)	72.2%	67.8%	79.4%	75.3%	73.7%	72.9%	78.0%	(81.2%)	74.8%	(79.6%)
2期(7期)	74.5%	72.9%	85.9%	85.1%			78.6%	(81.5%)	77.3%	(81.8%)
3期(8期)	73.6%	72.0%	83.0%	81.6%			80.6%	(81.9%)	80.1%	(80.8%)
4期(9期)	77.1%	75.9%	89.9%	89.9%			80.1%	(83.1%)	77.4%	(81.7%)
5期(10期)							82.3%	(83.6%)	81.3%	(82.5%)
期別計	74.4%	72.0%	84.6%	83.0%	73.7%	72.9%	81.1%		79.7%	
前年比	△2.4ポイント		△1.6ポイント		△0.8ポイント		△1.4ポイント			
コンビニ	35.9%	39.5%	17.5%	19.5%	45.8%	48.9%	19.1%		20.3%	
クレジット	1.3%	1.7%	0.9%	1.1%	1.5%	1.9%	0.3%		0.4%	

※コンビニ収納率及びクレジット納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合

●公共施設の複合化による機能面の充実

・公共機能の移転・複合化事業

地域の特性を活かした賑わい創出、コンパクトシティ化を推進するため、市民活動センター、保健センター等の公共機能の移転のほか、スポーツクラブ、コンビニエンスストア、地域FM放送等の民間機能を併せて設置し、市民活動の新たな拠点として「緑と語らいの広場（えにあす）」の供用を平成30年4月より開始しました。

目標03 とともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実 (P.55)

19,683千円

広報活動

広報えにわ発行	388,800部	(月平均32,400部)
くらしのカレンダー	388,000部	(月平均32,400部)
生活便利帳	1,000部	
えにわめぐりマップ(転入者用)	1,000部	

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用 (P.55)

3,455千円

FMラジオ 1日3回、週5日(閉庁日除く)。ほかイベント放送2回
メール配信 月2回

●開かれた行政運営の推進

市民要望や市民意識を把握するなど広聴活動の充実に努め、庁内及び関係機関との連携を強化し、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声(苦情・相談など) 32件
人権委員・行政委員による生活困りごと相談 2回(13人)
市民の広場 4回開催(延参加者数102人)
総合行政相談 2回(8人)

・パブリックコメントの推進

市民と行政の信頼関係の基礎となる透明性を確保し、政策形成過程への市民参加と市民への説明責任を果たす目的でパブリックコメント制度を実施しました。

平成30年度パブリックコメント実施状況(7案件、5名、意見数12件)

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標04 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくりの推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・地域防災計画・国民保護計画の推進 (P. 146~147)

災害時における警察・消防・町内会等の避難支援等関係者への提供を目的に、避難行動要支援者名簿を更新したほか、避難所機能の充実を図るため避難所の運営に係る説明を実施しました。また、防災組織づくりのための出前講座や学習会を実施するなど、市民啓発活動を積極的に実施しました。

- ・出前講座の実施 36回開催、延べ1,161人参加
- ・防災学習会の実施(恵庭中学校、柏木中央会館、かしのもりにて開催) 89人参加
- ・避難所防災説明会の実施 24町内会、45人参加
- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿 559名、災害時名簿1,464名

・自主防災組織等活動支援助成金 (P. 147) 3,383千円

地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進するため、自主防災組織の活動、新規設立に対し、その経費の一部を助成しました。

- ・平成30年度末 自主防災組織 39組織(昨年度末38組織)

・地域防災マスターの育成 (P. 146)

自主防災組織の組織率向上や既存組織の活性化、地域防災計画の浸透を目的に「恵庭市地域防災マスター」の研修会を実施し、地域の防災リーダーの育成に努めました。

- ・実施日 平成31年3月7日(防災マスター研修会) 参加者82名

・災害用物資備蓄品整備事業 (P. 146) 2,451千円

大規模災害時を想定した「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の生活用品等の備蓄を計画的に進めました。

- ・ポータブルストーブ98台、照明器具9台、発電機13台、簡易トイレ8,700枚等

●防災情報の的確な発信

災害時において的確に防災情報を収集、発信できる体制を確保するため、情報通信機器の更新整備等を実施し、地域防災力の強化を図りました。

・J-ALERT新型受信機導入事業 2,429千円

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進 (P. 133)

- ・平成22年度「木造住宅耐震診断助成」開始、平成30年度実績：10件

目標05 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防体制の充実

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新 (P.144～146)

・消火栓更新整備事業	10基	5,148千円	
・はしご付消防ポンプ車更新整備事業	1台	29,173千円	(平成30年度分)
*リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日			
・消防団資器材整備事業	一式	2,381千円	
・消防格納庫設置事業		5,754千円	
・消防広報車更新整備事業	一台	5,201千円	
・高規格救急自動車整備事業	一台	51,488千円	
・消防用資器材整備事業	一式	3,234千円	
・学生消防サポーター制度		平成30年度	33名登録

・メディカルコントロール体制の充実 (P.143)

- ・気管挿管実習1名(修了者現在計14名)
- ・薬剤投与救命士認定者数2名(認定者現在計27名)
- ・気管挿管救命士再認定講習4名(修了者現在計10名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士認定講習2名(修了者現在計10名)
- ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡気管挿管救命士実習1名(修了者現在計6名)

・応急手当普及啓発活動の強化推進 (P.144)

- ・AED(自動体外式除細動器)トレーナーを活用する等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級(2回・30人) 普通(22回・427人) 一般(29回・861人)
救命入門(19回・517人)
- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数(H30年度末):150施設

●防火団体の育成

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・平成30年度末設置率:78.0%(昨年度末85.0%)
- ・推進活動:出前講座22回、訪問指導21回の計43回実施

目標06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

地域や関係団体と警察署が連携をとりながら、防犯灯の設置など環境の整備や広報啓発活動を通じた市民一人ひとりの交通安全及び防犯意識の高揚を図り、市民と協働による安全安心なまちづくりを進めました。

・自主防犯活動の促進 (P. 58)

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末地域安全運動及び歳末警戒巡回パトロールの実施

・平成30年12月20日：市内の飲食店街に啓発物品を配布する夜間巡回パトロールを実施

・防犯灯等の設置状況 (P. 58)

540千円

平成30年度新設設置状況 防犯灯 8灯

・振込め詐欺防止対策の実施

振込め詐欺被害を受け、地区防犯協会と合同により防止対策活動を実施

・市内販売店、コンビニ、金融機関等に啓発ポスターを掲示

・金融機関等において啓発物品を配布 2回

・交通安全啓発活動の実施 (P. 56~57)

1) 人身事故発生状況(各年12月末現在) (人)

区分 年	発生件数	負傷者	死者
30年	81	92	1
29年	101	106	1
比較	△20	△14	0

2) 交通安全啓発事業

- ・交通安全警戒・注意等の看板の設置 6基
- ・交通安全旗の掲揚及び配布(325枚)
- ・交通安全運動の実施 4期(4月・7月・9月・11月)40日
- ・交通事故抑止市民大会 平成30年4月7日 約400人参加
- ・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回
- ・交通安全教室の開催 (人)

区分	幼稚園・保育園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	76	48	2	4	130
参加人員	5,589	4,106	139	93	9,927

- ・交通公園利用実績 団体利用1,694人、個人利用6,025人

3) 交通指導員の活動

- ・交通安全指導員(12名)
4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施
- ・交通安全児童指導員(9名)
市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業 (P. 136~137)

・区画線塗布工事 10,000千円

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
30年度	24,526	30,834	1,065	1,148
29年度	29,720	33,285	1,510	1,168
比 較	△ 5,194	△ 2,451	△ 445	△ 20

●消費生活相談事業の推進

悪質かつ巧妙化する消費トラブル等に迅速、的確に対応するため、消費生活相談員の配置や出前講座、消費者生活協会と連携し消費生活展を開催するなど消費者の保護及び被害の未然防止に取り組みました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施 (P. 58~59)

7,171千円

消費生活相談業務

相談員 5名 (平成31年3月31日現在)

毎週月曜日～金曜日 (10時～17時)

区 分	30年度	29年度	増減
相談件数	362	403	△ 41

(相談内訳：件)

区 分	契約・金銭トラブル	サイト登録等	勧誘・販売方法等	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	73	22	92	57	19	99	362

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
児童、高齢者等消費者教育について ほか	7回	205人

1) 恵庭消費生活展

開催日：平成30年10月27日 来場者数 約500人

2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・LPガス)

調査回数：毎月1回

調査地区：18店舗

3) 試買量目調査の実施状況

実施回数：年1回

調査品目：生鮮食料品 6品目

調査地区：9店舗

4) 消費者被害防止セミナー

開催日：平成31年2月26日 参加者数 42人

・無料法律相談の実施 (P. 55)

1,361千円

弁護士法律相談 36回 205人

司法書士法律相談 4回 16人

目標07 助け合いのちを大切にすまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりの人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援の推進 (P. 87・90～93)

・自立支援事業

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
30年度	5,130	106	28,186	15,925	130	155,108	26	3	431
29年度	5,711	120	31,730	15,541	128	154,806	23	2	212
比 較	△ 581	△ 14	△ 3,544	384	2	302	3	1	219

区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
30年度	0	0	0	442	13	4,595	62	7	3,589
29年度	0	0	0	604	22	5,440	64	7	4,429
比 較	0	0	0	△ 162	△ 9	△ 845	△ 2	0	△ 840

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
30年度	1,064	10	4,708	77(233)	6(6)	103(2,960)	27	1	310
29年度	1,028	14	4,305	108(225)	9(6)	142(2,834)	3	1	35
比 較	36	△ 4	403	△31(8)	△3(0)	△39(126)	24	0	275

・子ども発達支援センター事業

区 分	障がい児通所支援			市町村子ども発達支援センター事業					
	児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	センター基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達支援教室	巡回発達相談	
					1歳6ヵ月健診	3歳児健診			
30年度	4,685	581	46	107	29	40	82	16	
29年度	5,104	1,121	23	157	39	31	86		
比 較	△ 419	△ 540	23	△ 50	△ 10	9	△ 4	16	

区 分	相談支援事業		社会生活支援	小児神経医による発達相談	合 計
	障害児相談支援	特定相談支援			
30年度	583	79	35	33	6,316
29年度	577	94	59	21	7,312
比 較	6	△ 15	△ 24	12	△ 996

・子ども発達支援センターLED改修工事(P. 91)

4,082千円

●自立支援事業の推進 (P. 80～82・87・101)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 950千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 199千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 10,949千円
- ・地域福祉ふれあい事業の推進

障がいのある人とない人のふれあいを促進するための事業 (250千円)

実施回数 20回、延参加者数 477人

・社会参加促進事業の推進

心身障害者ボウリング委託事業 (47千円)

障がい者の社会参加促進のため、福祉関係団体の企画・実施による事業

参加者数 24人

・障がい者就労支援事業の推進

農福連携による就労機会の提供

延参加者数 2,479人

・障がい者自立支援事業の推進

1)障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス			日中活動系サービス				
	施設入所支援	共同生活介助(ケアホーム)	共同生活援助(グループホーム)	生活介護	就労移行支援	就労継続A	就労継続B	自立訓練
30年度	90		84	190	14	59	182	6
29年度	90		81	196	16	52	180	4
比較	0	0	3	△6	△2	7	2	2

区 分	合 計	
	実人員	金額(千円)
30年度	625	1,174,442
29年度	619	1,111,683
比較	6	62,759

※居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
30年度	1	1,617
29年度	1	1,608
比較	0	9

・在宅支援サービスの状況

1) 身体障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			日中一時支援事業（ケア型）			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
30年度	4,406.3	25	20,272	0	0	0	77	1	2,038
29年度	5,833.0	27	21,163	0	0	0	55	1	1,487
比 較	△ 1,426.7	△ 2	△ 891	0	0	0	22	0	551

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	ホームヘルプ事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
30年度	771.0	14	3,086	1,382	17	9,765
29年度	758.8	16	3,190	1,471	15	10,364
比 較	12.2	△ 2	△ 104	△ 89	2	△ 599

3) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
30年度	524	42	3,223	129	20	297
29年度	542	36	3,564	68	13	182
比 較	△ 18	6	△ 341	61	7	115

・相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度心身	発達	高次脳機能	難病等・その他	障がいの重複分	総計
30年度	相談実件数	331	1,209	724	7	125	30	140	406	2,160
	相談延件数	1,279	4,228	2,737	23	378	150	416	1,352	7,859
29年度	相談実件数	303	1,141	547	0	115	10	111	343	1,884
	相談延件数	1,317	5,136	2,612	0	476	34	334	1,408	8,501
比 較	相談実件数	28	68	177	7	10	20	29	63	276
	相談延件数	△ 38	△ 908	125	23	△ 98	116	82	△ 56	△ 642

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日利用者数
福 住	4,556	291	16
和 光	10,376	293	35
大 町	8,234	291	28
柏 陽	13,585	293	46
恵み野	19,418	297	65
島 松	17,743	300	59
東恵庭	1,783	292	6
合 計	75,695	2,057	36

- ・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 340人(75歳以上) 1人1,300円
- ・老人福祉スポーツ大会 平成30年7月19日 660人
- ・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 34クラブ 2,543千円
- ・敬老祝品贈呈事業
77歳 783人(4,354円)、100歳 16人(6,700円) 計3,517千円
- ・福祉バスの運行 運行日数 210日 利用者数 8,720人

・精神保健福祉自立支援給付事業の実施

区分	居宅介護		生活介護		短期入所		サービス計画	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
30年度	6	460	2	161	1	39	24	293
29年度	6	444	0	0	1	4	12	283
比較	0	16	2	161	0	35	12	10

区分	地域移行支援		共同生活援助		宿泊型自立訓練		自立・生活訓練	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
30年度	0	0	15	4,332	5	1,548	5	890
29年度	1	0	12	4,519	3	1,082	3	557
比較	△ 1	0	3	△ 187	2	466	2	333

区分	就労継続A※		就労継続B※		就労移行※	
	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数	実利用人員	延利用日数
30年度	31	6,586	64	9,627	8	1,256
29年度	27	6,052	66	8,752	7	1,165
比較	4	534	△ 2	875	1	91

※就労継続A：雇用型、就労継続B：非雇用型、就労移行：一般就労を目的とした訓練

※ 実利用人数：生活介護9月時点、地域移行支援5月時点、その他は2月時点

・精神障害者地域活動支援センター等通所交通費助成

区分	実人員	通所施設数	助成日数
30年度	18	15	2,496
29年度	23	19	2,868
比較	△ 5	△ 4	△ 372

・相談指導体制の充実

普及啓発（講演会、講座、学習会等）

区分	回数	延参加数
30年度	5	62
29年度	6	98
比較	△ 1	△ 36

相談

区分	来所・電話・メール 延相談数	訪問数（実／延）
30年度	160	7 / 20
29年度	220	18 / 22
比較	△ 60	△ 11 / △ 2

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
30年度	720	946
29年度	722	967
比 較	△ 2	△ 21

区 分	30 年 度		29 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,051	445,313	10,377	474,418	△ 326	△ 29,105
住宅扶助	10,145	187,685	10,384	188,054	△ 239	△ 369
教育扶助	733	6,821	933	10,264	△ 200	△ 3,443
介護扶助	2,051	23,812	2,049	27,519	2	△ 3,707
医療扶助	10,019	858,645	10,124	873,688	△ 105	△ 15,043
生業扶助	493	6,806	481	7,930	12	△ 1,124
葬祭扶助	16	3,104	9	2,266	7	838
出産扶助	-	-	-	-	-	-
施設事務費	3	570	12	885	△ 9	△ 315
就労自立給付費	6	481	1	133	5	348
進学準備給付金	6	1,000	-	-	6	1,000
合 計	33,523	1,534,237	34,370	1,585,157	△ 847	△ 50,920

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業の支援（P.69） 190千円

平成30年度啓発事業実績

- ・男女共同参画フォーラム
 - 講話：男女共同参画に係るアンガーマネジメントについて
 - パネル展示：男女共同参画推進週間における啓発パネル及び関係団体活動紹介パネルの展示
 - 平成30年6月16日開催（共催：女性ネットワークえにわ）
- ・男女共同参画事業のパネル展を実施
 - 男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊）
 - 女性に対する暴力をなくす運動（11月 恵庭駅西口空中歩廊）
- ・啓発用ポスターの掲示、パンフレット等の配布（市主催各行事、成人式等）
- ・フェイスブックを活用した周知活動
- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 3月 1,500部
- ・地域FM放送による情報発信 12回（月1回）
- ・キャッチフレーズ募集事業

市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、若年層に対する普及啓発を図るとともに、採用したキャッチフレーズを恵庭市の各事業において活用することにより市民の意識の醸成に努めました。

恵庭市男女共同参画推進協議会設立に向けた支援

男女共同参画の更なる推進を図るため、子育て応援企業、行政などを構成員とした「恵庭市男女共同参画推進協議会準備会」を設置し、家庭や学校、職場などの地域と行政が連携し、協働で男女共同参画を進める「恵庭市男女共同参画推進協議会」の設立に向けた支援を行いました。

- ・恵庭市男女共同参画推進協議会準備会の開催 7回

目標08 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●健康づくり計画・食育推進計画の推進及び啓発（P. 104～106・231～232）

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座等		ヘルティックウォーキング講習会		高齢者健康教育事業	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	延人員
30年度	8	300	54	1,306	4	44	3	87
29年度	12	219	46	1,195	4	41	3	100
比 較	△ 4	81	8	111	0	3	0	△ 13

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数
30年度	4,139
29年度	3,180
比 較	959

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
30年度	7	145	1	41	2	4
29年度	7	120	1	36	2	4
比 較	0	25	0	5	0	0

・歯科口腔保健普及啓発事業

区 分	歯科医師健口教室	
	回数	人数
30年度	4	149
29年度	4	173
比 較	0	△ 24

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		訪問相談		頭元気度	
	回数	延人数	回数	延人数	実人員	延人員	回数	延人員
30年度	15	162	4	12	578	625	4	22
29年度	11	92	1	1	641	661	4	23
比 較	4	70	3	11	△ 63	△ 36	0	△ 1

※通所型短期集中予防事業は、H30.4より「生活機能向上」「体力向上」「口腔機能向上」の3事業を統合。

区 分	介護予防普及啓発事業										地域介護予防活動支援事業			
	講演会		言語嚥下相談		バランスアップ教室		高齢者健康教室		老人クラブ健康教育		サポーター養成講座		地域支援・講演会	
	回数	人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	人員	回数	延人員	回数	延人員
30年度	2	217	-	-	-	-	4	56	33	984	14	102	46	924
29年度	2	123	-	-	-	-	4	65	34	1,050	13	149	50	1,027
比 較	0	94	-	-	-	-	0	△ 9	△ 1	△ 66	1	△ 47	△ 4	△ 103

※言語嚥下相談、バランスアップ教室は地域介護予防活動支援事業として実施

●予防接種・健康診査・がん検診の推進 (P. 103~104・106~108)

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
30年度	68	0	0	0
29年度	40	0	0	0
比 較	28	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG接種	四種混合	不活化 ポリオ	二種混合 (11~13歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
30年度	456	1,834	6	526	0	0	1,024	1,788
29年度	475	1,895	18	456	0	0	1,002	1,883
比 較	△ 19	△ 61	△ 12	70	0	0	22	△ 95

区 分	小児用 肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)
30年度	1,794	0	925	3,756	1,298	8,509	1,897
29年度	1,879	1	837	4,214	1,422	8,193	2,075
比 較	△ 85	△ 1	88	△ 458	△ 124	316	△ 178

○日本脳炎はH28.4より実施 ○B型肝炎はH28.10より実施

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	受診者数	C型陽性	B型陽性
30年度	74	3	429	0	7
29年度	61	7	542	0	6
比 較	13	△ 4	△ 113	0	1

○「要精検」「発見がん」の件数
については、平成29年度は実績
値、平成30年度は令和元5月末現在
○子宮がん検診は、頸部・体部
※がん検診推進事業分含む

区 分	胃がん検診			子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
30年度	2,079	157	11	941	17	0	1,073	40	6
29年度	2,198	194	4	999	9	0	1,245	41	5
比 較	△ 119	△ 37	7	△ 58	8	0	△ 172	△ 1	1

区 分	肺がん・結核検診			大腸がん検診			成人歯科健診・相談			
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	回数	受診数	要指導	要医療
30年度	2,289	94	1	2,589	202	8	8	188	5	104
29年度	2,331	67	2	2,661	229	9	8	181	7	88
比 較	△ 42	27	△ 1	△ 72	△ 27	△ 1	0	7	△ 2	16

・妊婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数
	交付人数	助成総数		
30年度	674	7,136	5,026	2,110
29年度	755	8,147	5,653	2,494
比 較	△ 81	△ 1,011	△ 627	△ 384

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マタニティマークストラップ）

区 分	配布数
30年度	430
29年度	447
比 較	△ 17

・特定不妊治療費用の助成

区 分	件数
30年度	52
29年度	40
比 較	12

・乳幼児育児支援事業の実施

区 分	訪問指導			健康相談		
	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		来所 相談
		訪問世帯数	実数	延数	回数	
30年度	426	58	103	12	519	41
29年度	472	53	94	12	400	41
比 較	△ 46	5	9	0	119	0

区 分	健康教育							
	妊婦教室 両親教室		育児教室		子育て講話		思春期保健	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
30年度	16	287	6	101	10	206	9	341
29年度	18	267	6	87	12	246	8	301
比 較	△ 2	20	0	14	△ 2	△ 40	1	40

・歯科保健対策の実施

（う歯予防）

区 分	フッ素塗布者数
30年度	1,885
29年度	1,801
比較	84

・乳幼児健康診査事業の実施

（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
30年度	938	6	220
29年度	935	10	181
比 較	3	△ 4	39

（先天性股関節脱臼健診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
30年度	407	12	1
29年度	457	4	0
比 較	△ 50	8	1

（1歳6か月児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
30年度	493	5	144	493
29年度	503	6	149	502
比 較	△ 10	△ 1	△ 5	△ 9

（3歳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
30年度	554	20	179	554
29年度	533	36	159	529
比 較	21	△ 16	20	25

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 192～193・207～208)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	2,927	29,598	410	6,507	3,337	36,105
29年度	2,700	28,129	434	6,902	3,134	35,031
比 較	227	1,469	△ 24	△ 395	203	1,074

(後期高齢者医療健康診査・脳ドックの状況)

区 分	健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	1,183	12,675	241	3,846	1,424	16,521
29年度	1,278	14,085	254	4,055	1,532	18,140
比 較	△ 95	△ 1,410	△ 13	△ 209	△ 108	△ 1,619

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実 (P. 110～112)

(市民スポーツ交流機会の開催状況)

(単位：人)

大 会 名	期 日	会 場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	9月30日	総合体育館他	4,231
少年少女ミニバレー大会	12月9日	総合体育館	278
恵庭クロスカントリースキー大会	2月17日	畜産共進会場	1,006
市民スポーツ大会 (15団体)	通年	市内体育施設他	2,424
スポパラinえにわ	5月19日	総合体育館	1,107
合 計	-	-	9,046

・スポーツ機会の提供 (P. 110～111)

(スポーツ教室・講習会等の開催状況)

(単位：人)

事 業 名	期間/回数	会 場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通 年 60回	総合体育館	2,978
各種スポーツ実技指導※	通 年 125回	総合体育館他	2,074
ニュースポーツ教室	6月～3月 4回	総合体育館	177
スポーツ少年団スポーツテスト会	8月7日、1月19日 2回	総合体育館	442
合 計	-	-	5,671

※指定管理者委託事業

・競技力向上事業 (P. 110～111)

(単位：人)

事 業 名	期 間	会 場	参加人数
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(サッカー)	5月12日	福住屋内運動広場	33
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(テニス)	6月9日	福住屋内運動広場	23
セガ・サマーカップ PRESENTS シュニアスポーツクリニック(バスケット)	6月24日	総合体育館	103
合 計	-	-	159

・スポーツ団体の育成・強化 (P.112)

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況 (単位：団体、人)

区 分	体育協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
30年度	22	2,352	30	905
29年度	23	2,434	30	922
比 較	△ 1	△ 82	0	△ 17

2) スポーツ振興基金利子運用事業 (単位：人、団体)

区 分	対象者		種 目
	個人	団体	
国際大会	1	1	陸上、野球
全国大会	33	3	陸上、新体操、空手道、テニス、柔道、スキー、卓球、野球 他
高校総体	4	3	陸上、新体操、空手道、スキー
高校選抜	3	2	ボクシング、新体操、空手道、スキー
国民体育大会	11	0	陸上、空手道、バスケットボール、サッカー、バレーボール、カヌー、ボウリング
全道大会	24	7	ミニバス、卓球、バレーボール、スキー
合 計	76	16	

・屋内体育施設の整備充実 (P.111~112)

1) 屋内体育施設の維持補修事業

・ 駒場体育館アリーナフローリング補修工事 303千円

2) 屋内スポーツ施設等利用状況 (単位：人)

区 分	30年度		29年度		比 較
	個人	団体	個人	団体	
総合体育館	86,868	67,792	91,210	71,355	△ 7,905
島松体育館	12,279	24,401	12,619	25,713	△ 1,652
駒場体育館	3,329	17,043	3,458	18,653	△ 1,739
福住屋内運動広場	2,227	15,045	2,377	15,936	△ 1,041
合 計		228,984		241,321	△ 12,337

3) 学校開放事業の利用状況 (単位：団体、人)

区 分	30年度	29年度	比 較
利用団体数	93	91	2
利用者数	26,841	28,521	△ 1,680

※実利用団体数65団体

※H28より少年団に対する学校教育体育施設開放については教育長裁量による開放につき利用数からは除外

・屋外体育施設の整備充実 (P. 112~113)

1) 屋外体育施設の維持補修費

- ・市民スキー場改修 196,052千円
- ・恵庭市民スキー場圧雪車修繕 1,296千円
- ・恵庭地区市民水泳プールシート改修工事 10,595千円

2) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	30年度	29年度	比 較
恵庭公園野球場	7,222	7,159	63
恵庭公園陸上グラウンド	5,383	4,158	1,225
恵庭公園球技場	6,438	6,569	△ 131
恵庭公園庭球場	4,660	4,896	△ 236
かしわ公園野球場	1,014	947	67
島松屋外運動場	4,270	4,693	△ 423
恵み野中央公園野球場	7,252	6,246	1,006
恵み野中央公園庭球場	6,276	10,298	△ 4,022
中島公園庭球場	5,875	8,778	△ 2,903
ふるさと公園庭球場	1,039	1,979	△ 940
めぐみの森公園庭球場	90	115	△ 25
あやめ緑地公園庭球場	119	98	21
恵庭中央パークゴルフ場	19,525	21,547	△ 2,022
漁川カワセミパークゴルフ場	9,448	10,452	△ 1,004
漁川アイリスパークゴルフ場	6,017	5,178	839
島松パークゴルフ場	4,653	6,300	△ 1,647
えなみ公園パークゴルフ場	0	0	0
北栄会館パークゴルフ場	670	886	△ 216
市民スキー場(夏期)	0	0	0
市民スキー場(冬期)	16,640	0	16,640
市民スケート場(夏期)	1,347	1,985	△ 638
市民スケート場(冬期)	12,245	10,749	1,496
島松スケート場	5,634	5,986	△ 352
合 計	125,817	119,019	6,798

3) 市民水泳プール利用状況

(単位：人)

区 分	30年度	29年度	比 較
恵庭水泳プール	4,702	4,872	△ 170
島松水泳プール	3,026	3,823	△ 797
柏水泳プール	4,601	5,753	△ 1,152
和光水泳プール	7,887	9,118	△ 1,231
東恵庭水泳プール	1,707	1,596	111
若草水泳プール	5,128	7,455	△ 2,327
恵み野水泳プール	3,052	3,169	△ 117
恵み野旭水泳プール	3,685	4,255	△ 570
合 計	33,788	40,041	△ 6,253

4) 恵庭南高校水泳プール利用状況

平成30年6月23日～平成30年9月9日 土・日・祝日のみ開放
利用者数 159人

目標09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持 (P. 105)

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
30年度	67	1,932	48	433	359	1,940	4,305
29年度	66	1,792	49	398	356	1,748	3,938
比 較	1	140	△ 1	35	3	192	367

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所 1 ヲ所、救急告示病院 3 ヲ所、消防署 1 ヲ所

●地域包括システムの構築 (P. 221・231～240)

・高齢者の状況

区 分	平成31年3月末	平成30年3月末
総人口	69,626 人	69,447 人
高齢者数	18,994 人	18,603 人
高齢化率	27.3 %	26.8 %

・審査会の状況

	平成30年度	平成29年度
審査会回数	50 回	58 回
審査件数	1,857 件	2,527 件
審査件数/回	37.14 件	43.57 件

・要介護認定等の状況(第1号被保険者)

認定者数(平成31年3月末)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	489	420	634	414	276	276	248	2,757

・介護保険サービスの利用状況(第1号被保険者)

居宅サービス受給者数(平成31年3月審査分)

区 分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人 数	218	264	435	300	112	92	58	1,479

施設サービス受給者数(平成31年3月審査分)

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	112	200	42	3	357

地域密着型サービス受給者数(平成31年3月審査分)

区 分	地域密着型サービス
人 数	467

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料 (円)	被保険者数	割合
第1段階	20,100	3,570	19.3%
第2段階	31,600	1,553	8.4%
第3段階	34,500	1,396	7.5%
第4段階	48,900	2,728	14.8%
第5段階	57,600	2,147	11.6%
第6段階	72,000	2,055	11.1%

所得段階	保険料 (円)	被保険者数	割合
第7段階	74,800	3,240	17.5%
第8段階	86,400	1,107	6.0%
第9段階	100,800	323	1.8%
第10段階	106,500	375	2.0%
計		18,494	100%

・保険料の収納状況

	H29	H30
収納率	99.92%	99.90%

・保険料の減免状況

人数	減免額
2	24,900円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置 (利用者負担のうち1/4を軽減)

対象者数 74人 経費 1,833千円

・高齢者相談支援事業

区分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	761	1,068

・地域包括支援センターの設置

(高齢者相談事業)

区分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者(一般)	199	760	192	723	111	403	116	481	618	2,367
総合事業対象者	90	1,011	97	1,002	68	678	42	629	297	3,320
要支援者	191	2,348	234	3,209	195	2,246	176	3,265	796	11,068
要介護者	33	271	69	355	18	115	35	210	155	951
障がい者	1	6	2	2	0	0	0	0	3	8
その他	1	3	1	1	5	10	0	0	7	14
合計	515	4,399	595	5,292	397	3,452	369	4,585	1,876	17,728

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用(日・回)数
配食サービス事業	147人	24,275食
外出支援サービス事業	113人	2170回
訪問理美容サービス事業	23人	80回
除雪サービス事業	542世帯	6,711回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数314台(固定75台、携帯239台)
- ・訪問サービス事業 利用者数5人、配布した乳酸飲料42本

・家族介護支援事業の推進

事業名	実施概要
介護教室事業	開催回数 1 回 参加者数 6 人
家族介護者交流事業	合同交流 6 回、参加者数 6 6 人、随時交流 1 2 回、参加者数 8 1 人
家族介護用品支給事業	利用者数 4 1 人
介護支援専門員支援事業	利用件数 1 6 件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 0 件 、市長申立 6 人

●医療費の助成

・重度障害者医療費の助成 (P. 83)

(受給者数)

区 分	身障者	3 級外部	知的障がい者	精神障がい者	合 計
30年度	1, 108	307	202	18	1, 635
29年度	1, 109	311	202	13	1, 635
比 較	△ 1	△ 4	0	5	0

(助成金額) 道補助対象分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	1, 696	35, 567	22, 706	64, 838	24, 402	100, 405
29年度	1, 672	43, 140	22, 838	69, 305	24, 510	112, 445
比 較	24	△ 7, 573	△ 132	△ 4, 467	△ 108	△ 12, 040

(助成金額) 市単独分

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	304	7, 073	6, 325	12, 161	6, 629	19, 234
29年度	274	7, 331	6, 705	12, 923	6, 979	20, 254
比 較	30	△ 258	△ 380	△ 762	△ 350	△ 1, 020

(助成金額) 合計

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	2, 000	42, 640	29, 031	76, 999	31, 031	119, 639
29年度	1, 946	50, 471	29, 543	82, 228	31, 489	132, 699
比 較	54	△ 7, 831	△ 512	△ 5, 229	△ 458	△ 13, 060

・子ども医療費の助成 (P. 90)

(受給者数)

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
30年度	1, 297	2, 089	371	31	3, 788
29年度	1, 374	2, 086	414	37	3, 911
比 較	△ 77	3	△ 43	△ 6	△ 123

(助成金額)

区 分	入院（未就学児）		入院外（未就学児）		入院（小学生）		入院（中学生）		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	525	17,742	58,827	71,664	62	2,223	16	550	59,430	92,179
うち道補助対象分	525	15,412	58,827	55,607	62	2,223	-	-	59,414	73,242
うち市単独分(一部)	108	2,330	26,470	16,057	-	-	-	-	26,578	18,387
うち市単独分(全部)	-	-	-	-	-	-	16	550	16	550
29年度	525	18,522	62,615	78,766	59	2,070	17	1,190	63,216	100,548
比 較	0	△ 780	△ 3,788	△ 7,102	3	153	△ 1	△ 640	△ 3,786	△ 8,369

(未熟児養育医療費助成)

区 分	実人数（人）			件数（件）			助成金額（千円）		
	医療	食事療養	計	医療	食事療養	計	医療費	食事療養費	計
30年度	18	15	33	47	37	84	4,071	853	4,924
29年度	10	10	20	24	19	43	2,267	241	2,508
比 較	8	5	13	23	18	41	1,804	612	2,416

※平成25年度からの新規事業

・ひとり親家庭等医療費の助成（P.90）

(受給者数)

区 分	親	子	計
30年度	757	1,135	1,892
29年度	740	1,112	1,852
比 較	17	23	40

(助成金額)

〔親〕 (道補助対象分) (市単独分)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	76	5,416	9,502	19,419	9,578	24,835
29年度	64	3,801	8,899	18,597	8,963	22,398
比 較	12	1,615	603	822	615	2,437

〔子〕 (道補助対象分) (市一部負担分含む)

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	46	2,444	11,298	17,484	11,344	19,928
29年度	37	2,084	11,049	16,816	11,086	18,900
比 較	9	360	249	668	258	1,028

〔合計〕

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
30年度	122	7,860	20,800	36,903	20,922	44,763
29年度	101	5,885	19,948	35,413	20,049	41,298
比 較	21	1,975	852	1,490	873	3,465

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国保健康保険

(加入状況)

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
30年度	8,484	25.45	12,915	18.55
29年度	8,666	26.37	13,374	19.26
比 較	△ 182	△ 0.92	△ 459	△ 0.71

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
30年度	6,516,111	6,689,120	△ 173,009
29年度	7,881,881	8,114,498	△ 232,617
比 較	△ 1,365,770	△ 1,425,378	59,608
増加率%	△ 17.33	△ 17.57	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1件当り (円)	1人当り (円)
30年度	139,639	1,081.22	4,153,816	29,747	321,627
29年度	142,989	1,069.16	4,448,647	31,112	332,634
比 較	△ 3,350	12.06	△ 294,831	△ 1,365	△ 11,007
増加率%	△ 2.34	1.13	△ 6.63	△ 4.39	△ 3.31

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
30年度	9,223	13.22
29年度	8,958	12.89
比 較	265	0.33

(収支状況)

区 分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
30年度	935,007	919,639	15,368
29年度	893,269	890,193	3,076
比 較	41,738	29,446	12,292
増加率%	4.67	3.31	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標10 いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を行いました。

●企業誘致等の状況

平成23年10月で市有工業団地が完売しましたが、進出企業へは未操業用地や民間用地の仲介・斡旋の手法により企業誘致を進めた結果、民間企業所有地に3社(うち新規立地1社、市内移転拡張2社)の企業誘致が実現しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業 (P.118)

3,935千円

働く意欲や能力のある求職者の就職支援のために、就職活動に関する基礎知識を習得するセミナーや職業相談を開催しました。また、高校生、女性求職者を対象とした各種支援事業に取り組みました。セミナー等を通して潜在的な労働力を発掘するとともに、企業訪問バスツアーや合同企業就職説明会を通して市内企業の理解を深め職場への定着を図ったほか、求職者へ就職活動の機会を提供するなど、企業の求人業務の効率化を担いました。

(1) 就職支援セミナー

高校生向けセミナー 平成30年7月25、26日

受講者46人、就職決定者41人

企業採用担当者向けセミナー 平成30年9月27日

企業数16社、受講者23名

(2) 合同企業就職説明会

平成30年10月6日

参加企業数34社、参加者数50人、就職決定者14人

・求職・労働相談 (P.118)

661千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、求人情報の把握や発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の通年雇用化を図るため、通年雇用促進協議会において厚生労働省からの委託事業及び独自事業の通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭 (ミニハローワーク)					恵庭市相談室	
	来場者数	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
30年度	13,955	4,821	1,353	1,481	459	38	8
29年度	14,653	5,354	1,317	1,787	480	2	0
比 較	△ 698	△ 533	36	△ 306	△ 21	36	8

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	40社	36社	3人	2人
②事業所向け経営支援講習事業	50社	82社	4人	4人
③通年雇用普及啓発事業	650社	657社	16人	8人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブックWeb版掲載）	30社	22社	2人	2人
⑤事業所向け調査研究事業	650社	665社	1人	16人
⑥冬季出向型通年雇用相談事業	5社	1社	1人	0人
⑦事業効率化技能講習業務委託事業	15社	16社	2人	2人
⑧通年雇用化支援講習業務委託事業	10人	7人	1人	0人
⑨パソコン研修事業	60人	34人	1人	0人
⑩建設技能資格取得業務委託事業	36人	17人	4人	0人
⑪施設管理技能資格取得業務委託事業	6人	3人	1人	0人
⑫医療・介護関連資格取得業務委託事業	8人	0人	1人	0人
⑬新ビジネス技能講習業務委託事業	5人	4人	1人	0人
⑭商業・サービス業技能講習事業	15人	19人	1人	1人
⑮合同企業就職説明会事業	26人	38人	3人	0人
⑯季節労働者実態調査事業	1250人	974人	—	12人
⑰職場体験実習	6人	0人	2人	0人
⑱季節労働者資格取得支援事業	6人	5人	1人	2人
⑲登録季節労働者情報提供事業	780人	1391人	1人	0人
⑳建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	10人	5人	1人	0人
合計	3,658件	3,976件	47人	49人
目標達成率	108.7%		104.3%	

・シルバー人材センター事業支援（P.118）

10,130千円

高齢者の生きがい対策、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

区分	公共事業（恵庭市分）		その他		合計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
30年度	354	72,730	3,116	170,025	3,470	242,755
29年度	410	77,409	3,200	166,434	3,610	243,843
比較	△56	△4,679	△84	3,591	△140	△1,088

目標11 恵まれた土地を生かした農林業

農業の多様な担い手の育成や農地の集積、農業生産基盤の整備などにより、農業経営の強化に努めるとともに、安全・安心な農畜産物の生産体制の強化を図りました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備やかんがい排水施設の整備を実施したほか、環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業 (P. 123) 7, 754千円
排水路補修工事(西5線幹線排水路、西2線幹線排水路、西4線幹線排水路)、排水路法面草刈ほか
- ・内水排除施設管理事業 (P. 123~124) 32, 142千円
排水機場管理事業(北島、西4線、中島松、漁太、漁太川排水機場)
釜加地区内水排水機場管理費負担金(南21号・南18号排水機場)
- ・国営かんがい排水事業 (P. 124) 12, 636千円
国営土地改良事業地元負担金(道央地区)
- ・多面的機能支払交付金事業 (P. 124) 104, 775千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・道営農地整備(経営体育成型)事業 (P. 124) 56, 904千円
道営経営体基盤整備(左岸島松、左岸北栄、漁川右岸)
- ・国営造成施設(揚水機場)管理事業費 (P. 124~125) 31, 987千円
基幹水利施設(千歳川第1・第2揚水機場)の管理

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し新たな担い手の確保と育成に努めました。

- ・農業後継者対策費 (P. 120) 7, 710千円
農業研修派遣事業、農業次世代投資資金(経営開始型)事業
(青年農業者道内研修20名、女性農業者道内研修7名、青年農業者海外研修2名)
- ・農業者支援資金利子補給事業 (P. 120) 619千円
スーパーL資金、農業経営緊急支援資金に係る利子補給
- ・簡易耕土改良事業 (P. 120~121) 300千円
簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ(2件 事業面積258a)
- ・強い農業づくり事業 (P. 120~121) 52, 042千円
融資主体型補助事業、追加的信用供与事業
- ・荒廃農地等利活用促進事業 (P. 120~121) 485千円
荒廃農地再生・営農定着に係る費用を助成
- ・環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 121) 5, 437千円
環境保全型農業への取り組み支援(10件 対象面積7, 728a)

・アグリネット事業 (P. 121)

484千円

次世代を担う子どもたちや都市住民に対し、農業とふれあう機会の提供等により、食の大切さを学び、農業への理解を深めるためアグリネット事業を展開しました。開催にあたっては、委託先であるNPO法人まちづくりスポット恵み野及び農業者の協力の下、作物の植え付けや収穫等の農業体験を実施し、地域間の交流を深めました。(参加者33人(大人15人、子ども18人))

活動内容	5月27日	入園式・大豆の種植え及び田植え体験
	7月22日	大豆畑の草取り及び郷土資料館(昔の農機具)見学
	9月15日	枝豆の収穫体験
	9月30日	稲刈り・はさがけ体験
	10月21日	稲の脱穀・もみすり体験
	11月18日	豆腐と油揚げ作り体験・卒園式

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

・恵庭市農商工等連携推進ネットワーク (P. 131)

平成25年2月に市内の企業・団体が参画して「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」を設立し、農畜産物、花、自然等の地域資源を有効活用した新商品や新サービスの開発支援、販路開拓、市内外への情報発信など、地域の経済活性化の促進に取り組みました。

(1) 交流・連携事業

恵庭市農商工等連携推進ネットワークの会員交流と相互連携の促進を図るため、総会・交流会を開催しました。

総会	平成30年	7月9日	参加者31人
交流会	平成31年	2月26日	参加者31人

(2) マーケティング事業

イオン北海道見本市	出展者数	1事業者
北海道ハイウェイShowArea	出展者数	1事業者
さっぽろオータムフェスト	出展者数	2事業者

(3) 広報・情報提供事業

HPによる活動、開発商品等の紹介、パンフレット作成・配布、助成金・補助金情報の配信等

(4) マッチング商談会

開催地：藤枝市 平成30年7月23日 参加事業者数 恵庭市10社、藤枝市10社
：恵庭市 平成30年11月4日 参加事業者数 恵庭市9社、藤枝市8社

	商談件数	成立件数	継続件数	不成立
30年度	20件	14件	5件	1件

(5) 新商品・新サービス開発事業

恵庭市農商工等連携推進ネットワーク会員により、恵庭市の資源を活用した新商品や友好都市である静岡県藤枝市との連携による新商品の開発・販売が行われました。(新商品数：35品)

主な新商品 「恵みの庭のCafe Cookie」、「みかんベーグル」「抹茶うどん」など

(6) 藤の恵フェアの開催・広域ネットワークPRグッズの製作

友好都市である藤枝市との連携により開発された商品のブランドとして「藤の恵」を立ち上げ、ブランドPRのため藤の恵フェアの開催のほか、ポストカード、タペストリー等を製作した。

藤の恵フェア 平成31年2月22日～平成31年3月23日 参加事業者18社

・えにわん産業祭2018 (P. 130~131)

9,347千円

平成26年度までの「食農交流フェスタ」を発展させ、平成27年度から「えにわん産業祭」を開催しており、平成28年度には会場のスペース拡大や出展ブースの増加などイベントの充実を図りました。平成30年度は前年度から引き続き藤枝市事業者との連携商品開発を目的とした「マッチング商談会」を開催し、多くの商談が成立したほか、市内の優れたものづくり企業の取り組みや農商工連携により開発された加工品の展示・販売を通じて地域産業の活性化につなげました。

開催日：平成30年11月4日

来場者数約5,800名 出展ブース数72(企業団体数は57)

目標12 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業 (P. 126)

1, 144千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

- (1) 商店街の景観整備などによるイメージアップと魅力向上を図る事業を支援
- (2) 商店主達が地域のイベントを開催し、商店街の活性化を図る事業を支援

・起業家支援事業 (P. 125~126)

6, 965千円

市内で新たに开店する事業者に対する新規开店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

●市民をまきこんだにぎわいづくりの推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業 (P. 128)

759千円

市民が主体となって、市内企業や商店、様々なサークル活動団体等の人と人とのつながりを大事に運営し、まちの賑わいを創出し、まちの活性化、地域振興につなげました。

目標13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、観光振興施策の展開を検討しました。

また、観光PRの強化や拠点の充実、新たな観光資源の創出に重点を置いて観光振興を図りました。

- ・恵庭市観光推進協議会の開催
第1回：平成30年8月7日
- ・オープンガーデンイベント「恵みの庭めぐり」（平成30年7月13日、14日）
- ・恵庭市HP「花と観光」 閲覧数 215, 215件（前年度比146%）
- ・恵庭市公式観光WEBサイト「ENIWA EYE」 閲覧数62, 490件

・ウェルカムフラワーロード活動の促進（P.129～130）

恵庭市への入口となる西島松北の国道36号及び美咲野・牧場の道々恵庭岳公園線沿いを花で飾り、恵庭市観光客など歓迎する美化活動を実施しました。

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.129～130）

平成30年3月に新・花のまちづくりプランを策定し、「美しいまちで暮らそう」を目標に市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を活かした環境づくりに取り組みました。

（1）花とくらし展

開催日：平成30年6月23日、24日 会場：恵庭市旧保健センター・花ロードえにわ

（2）花マップの製作 30, 000部（市内JR各駅、花ロードえにわ外にて配布）

（3）花はな通信の発行 市内全戸配布（3月）

（4）コミュニティーガーデン造成事業

恵庭市立図書館の敷地内において、花と緑に囲まれた環境の中で、読み聞かせ等の取り組みが行えるようコミュニティーガーデン造成事業を実施しました。

（5）花のガイドブック作成

- ・本編 32頁 6, 000部作成
- ・小学生用 8頁 5, 000部作成（3月発行）

・対恵庭直接投資継続拡大に係る推進事業（P.130）

14, 745千円

最も訪日教育旅行者数の多い台湾をターゲットに、平成29年度に造成したツアー等を台湾人のトレンドを踏まえ改良したほか、体験型コンテンツや地産品等を組み合わせることにより、一般消費者にも魅力あるツアーを造成し、情報発信、ツアー実現に向けた取組みを推進しました。

- ・造成したツアー等の改良（台湾教育旅行会社の招聘2社、モニターツアーの実施9人参加）
- ・教育観光交流商談会 参加者 市内8団体 台湾旅行会社36社、商談件数 52件
- ・個別訪問商談会 商談件数 14件（旅行会社9件、教育機関5件）
- ・台湾華僑招聘事業 参加者 市内8団体 在日台湾華僑30名、商談件数 29件
- ・台湾人観光客受入サポートセミナー 参加者 市内事業者26人
- ・教育旅行の受入れ 中学生・教員 計33名受入れ（恵明中学校）
小学生・教員 計20名受入れ（若草小学校）
- ・ホームステイの受入れ 17名受入れ（市内7家庭）
- ・体験商材、地域ブランドの開発

市内3社の協力のもと、地域ブランド「恵庭賛花」を埼玉県の商業施設においてテスト販売したほか、花の体験商材としてハーバリウムづくり体験会を開催し、台湾人留学生9名が参加し商材としての可能性分析を行った。

・えにわシティセールス事業 (P. 56)

1, 379千円

恵庭市の認知度向上を図るため、平成30年度から魅力ある観光資源の発信の強化、新たなブランド戦略の実施などシティセールスを推進しました。

札幌市営地下鉄中吊り広告(南北線、東西線、東豊線) 2種類 各440枚
ガーデンシティえにわPRポスターの掲示 市内外20箇所

・ふるさと公園再整備事業 (P. 140)

12, 928千円

・恵庭ふるさと公園実施設計委託

・花の拠点整備事業 (P. 128~129)

232, 479千円

- ・花の拠点実施設計委託
- ・道と川の駅改修設計委託
- ・松園線交差点詳細設計委託
- ・花の拠点貯水槽設計委託
- ・南島松地区植栽工事
- ・用地取得及び物件移転補償

●移住・定住の促進

・移住促進事業 (P. 63)

5, 549千円

平成23年度に開設した「恵庭市移住・定住支援サイト」では、恵庭市の求職情報や不動産情報、各イベント情報の発信のほか、実際に移住した市民の声等を紹介し、恵庭市の魅力発信に取り組みました。また、道外での移住イベントへ参加するなど恵庭市の知名度向上及び魅力の発信にも努めました。

さらに、移住促進事業としての「オーダーメイドツアー」の実施、新たな移住促進体制に向けた勉強会や移住者交流会の実施に加え、空き家にしないためのマイホーム活用に関する住まいのセミナーを開催するなど市内の住宅の住み替えや流動化に向けた啓発活動に取り組みました。

- ・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス件数：51, 918件
- ・移住イベント相談者数：139組
- ・オーダーメイドツアー参加者数：13組(うち4組移住)
- ・恵庭住まいのセミナー参加者数：104人

・西島松地区基礎調査 (P. 65)

5, 465千円

西島松地区は、古くから市街化区域に編入されているものの、インフラが未整備であるとともに、未利用地も存在していますが、大型店舗の立地やアクセス等の利便性が高く、住宅地供給の潜在能力を有しているため、現況、課題調査を実施し、実施可能な開発手法について分析を行いました。

●都市間交流の促進 (P. 68~69)

1, 098千円

・和木町との相互交流(花とくらし展)

開催日 平成30年6月22日~24日 (来患者3名)

・和木町「わき愛あいフェスティバル」に参加

開催日 平成30年11月4日 (参加者2人)

・藤枝市「ふじえだ産業祭」への出展

開催日 平成30年10月27日、28日

・姉妹都市等交流促進補助金事業

第3回恵庭市長杯サッカー大会(来患者20名)

第45回藤枝J.C杯争奪少年少女サッカー大会(訪問者19名)

藤枝市・恵庭市農商工連携広域ネットワークによる2018ふじえだ産業祭の出展交流

藤枝・恵庭商工会議所 経済交流会

恵庭市・藤枝市 J.A間農業事業交流

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標14 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりとして計画的な子どもひろば、子育て支援センター、学童クラブの整備(P. 89～91・94～100)

子育てについての家庭対策や相談・指導などの各種支援に努めました。更に、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や児童館事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、児童手当、児童扶養手当等の各種手当を支給し、家庭の生活の安定を図りました。

・子育て支援センター事業の充実（相談件数・利用者数）

相談項目	件数	年齢等	利用者数
しつけ（基本的な生活習慣）	138	保護者	18,784
発達（言語、情緒、身体）	177	0歳	5,063
子どもの対人関係	40	1歳	7,042
親子・家庭関係	115	2歳	5,273
問合せ	608	3歳以上	4,912
合計	1,078	合計	41,074

※相談件数・利用者数は、柏陽・恵み野・島松・黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・児童館・子どもひろば利用状況

（平成31年3月31日現在）

区分	就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計	
30年度	恵庭子どもひろば	1,773	12,630	168	137	1,931	16,639
	黄金子どもひろば	703	13,652	605	13	1,117	16,090
	島松子どもひろば	338	5,086	972	81	681	7,158
	恵み野子どもひろば	6,501				3,578	10,079
	若草っこひろば	-	2,655	-	-	-	2,655
	柏子どもひろば	720	7,200	731	106	721	9,478
	合計						62,099
29年度	恵庭児童館	121	7,425	576	709	1,000	9,831
	黄金子どもひろば	959	14,821	975	50	1,297	18,102
	島松子どもひろば	346	6,083	1,165	82	803	8,479
	恵み野子どもひろば	7,021				3,606	10,627
	若草っこひろば	-	2,979	-	-	-	2,979
	柏子どもひろば	730	7,956	936	66	835	10,523
	合計						60,541
比較	恵庭こどもひろば(恵庭児童館)	1,652	5,205	△ 408	△ 572	931	6,808
	黄金子どもひろば	△ 256	△ 1,169	△ 370	△ 37	△ 180	△ 2,012
	島松子どもひろば	△ 8	△ 997	△ 193	△ 1	△ 122	△ 1,321
	恵み野子どもひろば	△ 520				△ 28	△ 548
	若草っこひろば	-	△ 324	-	-	-	△ 324
	柏子どもひろば	△ 10	△ 756	△ 205	40	△ 114	△ 1,045
	合計						1,558

・学童クラブ事業(P.96~97)

27,781千円

放課後の時間帯における児童の健全な育成を図るため、恵庭市では市内を4つに区分し全16箇所で学童クラブを運営しています。平成29年度からは、更なるサービスの向上と事業の効率化を目的に学童クラブの民間委託の試行を開始しており、平成30年度は試行範囲を拡大し、より詳細な検証、分析を行いました。

- ・平成29年度試行 島松学童クラブ
- ・平成30年度試行 島松学童クラブ、柏学童クラブ、柏第2学童クラブ

学童クラブ受入状況（月平均）

区 分	小学校1年生	小学校2年生	小学校3年生	小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	障害児	合計
30年度	196	160	124	80	40	3	10	613
29年度	178	157	131	77	15	6	10	574
比較	18	3	△7	3	25	△3	0	39

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数

依頼会員772人、協力会員140人、両方会員79人、合計991人

援 助 内 容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	175
学童保育の送迎、預かり等	7
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	163
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	86
子どもの病気、習い事等の場合の援助	246
その他	0
合 計	677

・児童手当

区 分		第1子		第2子		第3子以降		合 計	
		総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
30年度	3歳未満	5,401	81,015	4,670	70,050	2,218	33,270	12,289	184,335
	3歳以上	23,346	233,460	16,596	165,960	6,314	94,710	46,256	494,130
	中学生	9,837	98,370	5,247	52,470	532	5,320	15,616	156,160
	特例給付	1,092	5,460	961	4,805	442	2,210	2,495	12,475
	小計	39,676	418,305	27,474	293,285	9,506	135,510	76,656	847,100
29年度	3歳未満	5,548	83,220	4,787	71,805	2,144	32,160	12,479	187,185
	3歳以上	23,247	232,470	16,836	168,360	6,272	94,080	46,355	494,910
	中学生	10,187	101,870	5,091	50,910	455	4,550	15,733	157,330
	特例給付	970	4,850	940	4,700	428	2,140	2,338	11,690
	小計	39,952	422,410	27,654	295,775	9,299	132,930	76,905	851,115
比較		△276	△4,105	△180	△2,490	207	2,580	△249	△4,015

※3歳未満・3歳以上小学校修了前（第3子）は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前（第1・第2子）・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当

区 分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計（人）	金額（千円）
30年度	371	260	79	710	319,058
29年度	319	330	60	709	315,945
比較	52	△70	19	1	3,113

・遺児手当

区 分	就学児(15,000円/年)		未就学児(12,000円/年)		合 計	
	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)	総人員	金額(千円)
30年度	23	303	1	8	24	311
29年度	23	331	3	31	26	362
比 較	0	△ 28	△ 2	△ 23	△ 2	△ 51

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額(千円)
30年度	4	99
29年度	7	234
比 較	△ 3	△ 135

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額(千円)
30年度	3	1,368
29年度	3	1,241
比 較	0	127

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業(平成29年度から実施)		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
30年度	0	0	0	0	0	0
29年度	1	2	9	0	0	0
比 較	△ 1	△ 2	△ 9	0	0	0

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談受付件数

(実件数)

項目	養護相談			障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他	保健相談	肢体不自由	障視 が聴 い覚	障 言 語 発 達 等	障 が い 重 心 身	知 的 障 が い	発 達 障 が い	ぐ 犯 行 為 等	触 法 行 為 等
30年度	91	135	1	5	0	1	5	40	60	1	0
29年度	61	133	4	1	0	0	6	52	34	1	1
比 較	30	2	△ 3	4	0	1	△ 1	△ 12	26	0	△ 1

項目	育成相談				その他の相談	合 計
	性格行動	不登校	適性	し育 つ児 け・		
29年度	5	6	0	0	14	364
29年度	18	0	0	0	17	328
比 較	△ 13	6	0	0	△ 3	36

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 28回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
30年度	4	12	78	73	20	2	1	318	29	33	1	0	6
29年度	2	15	68	49	14	5	2	353	64	32	1	0	27
比較	2	△ 3	10	24	6	△ 3	△ 1	△ 35	△ 35	1	0	0	△ 21

項目	経済的支援・生活援助							その他					合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向公営住宅	母子福祉施設の利用	母子生活支援施設	
30年度	330	3	0	318	0	7	88	0	0	0	0	0	1,323
29年度	296	7	3	310	4	5	63	0	0	0	0	0	1,320
比較	34	△ 4	△ 3	8	△ 4	2	25	0	0	0	0	0	3

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業

区分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
30年度	0	0	0	0	0	0
29年度	0	0	0	1	0	1
比較	0	0	0	△ 1	0	△ 1

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業

区分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	修了支援給付金	合計
30年度	0	0	1	0	2	0	0	3
29年度	0	0	0	0	1	1	2	4
比較	0	0	1	0	1	△ 1	△ 2	△ 1

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業（平成29年度より実施）

区分	利用者数	金額（千円）
30年度	1	78
29年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業

区分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
30年度	0	0	0	0
29年度	1	3	6	10
比較	△ 1	△ 3	△ 6	△ 10

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況

区分	恵庭地区	柏地区	若草地区	合計
述べ利用者数(人)	194	306	501	1,001
開設日数(日)	49	47	70	166

●民間施設を含めた保育環境の確保(P. 93～94)

ライフスタイルや就労形態の多様化に伴い、子育て支援事業の充実を図るため、保育所では0歳児の定員を24名拡大し受入態勢を確保したほか、延長保育事業や休日保育事業、地域交流保育事業を実施し、さらには、一時保育事業について平成29年10月から新規1園を加え4園での受入れを開始するなど、仕事と育児を両立させ安心して働くことのできる環境を整備しました。また、平成29年度から保育所等を利用する第2子以降の3歳未満児の保育料無償化を開始し、さらなる保育サービスの向上を図りました。

・保育所入所児童数 (平成31年3月31日現在)

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率%
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すずらん保育園	9	12	17	10	15	11	74	90	82.2%
島松いちい保育園	9	20	23	22	16	11	101	90	112.2%
こすもす保育園	14	20	18	20	18	16	106	90	117.8%
すみれ保育園	6	16	18	16	16	14	86	90	95.6%
恵み野保育園	6	15	18	12	6	7	64	56	114.3%
ひまわり保育園	8	15	13	7	7	1	51	49	104.1%
さくら保育園	12	17	15	13	13	11	81	75	108.0%
えほんの森	9	15	13	12	12	12	73	75	97.3%
幼稚舎えるむ	12	18	16	12	7	9	74	69	107.2%
えにわスマイル保育園	6	12	11	7	10	7	53	53	100.0%
かしわ幼稚園・保育園	6	10	15	8	10	1	50	58	86.2%
合 計	97	170	177	139	130	100	813	795	102.3%
うち、他市町村からの広域受入	0	1	2	1	3	1	8		
他市町村への広域入所	3	1	1	3	1	2	11		

・多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児(第2子以降)

区 分	実人数	延人数
30年度	176	1,688
29年度	163	1,423

・地域交流保育事業

実施時期 : 平成30年6月～平成31年2月(月1回)

実施時間 : 9時45分～11時00分(1時間15分)

対 象 児 : 平成30年4月1日現在 生後6ヶ月以上～就学前児まで(各園共通)親子で参加

区 分	組 数	人 数
すずらん保育園	8	16
島松いちい保育園	1	2
こすもす保育園	43	113
すみれ保育園	61	122
恵み野保育園	136	280
ひまわり保育園	242	490
さくら保育園	24	50
えほんの森	27	59
幼稚舎えるむ	49	108
えにわスマイル保育園	13	32
かしわ幼稚園・保育園	67	138
合 計	671	1,410

・休日保育事業

定 員 : 10名程度

開設時間 : 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
こすもす保育園	11	65	43
合 計	11	65	43

・延長保育事業

保育時間 18時15分～19時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すずらん保育園	41	577	231
島松いちい保育園	58	1,608	283
こすもす保育園	54	1,173	276
すみれ保育園	40	972	276
恵み野保育園	23	456	225
ひまわり保育園	23	889	267
さくら保育園	31	1,021	274
えほんの森	30	873	258
幼稚舎えるむ	35	616	202
えにわスマイル保育園	31	329	138
かしわ幼稚園・保育園	18	350	76
合 計	384	8,864	2,506

・一時保育事業

対象児：1歳～就学前児

定 員：8名/日

保育時間：7時15分～18時15分

区 分	実人員	延人員	利用日数
すみれ保育園	68	706	236
島松いちい保育園	47	846	271
こすもす保育園	78	1,353	275
えほんの森	69	777	264
合 計	262	3,682	1,046

- ・すずらん保育園煙突改修工事 (P. 94) 772千円
- ・こすもす保育園エアコン整備事業 (P. 94) 2,592千円
- ・保育園等環境整備事業費補助金（防犯カメラ設置 5園）(P. 99) 1,863千円

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進 (P. 161)

少子高齢化、地域の関係性の希薄化など、家族のあり方や地域社会の結びつきが変化し、様々な年代との関わりを体験することなく子どもや若者が育つ時代の中、人間関係構築のために大切なコミュニケーション力を形成するため、家庭や学校、地域などで、子どもと保護者等が交流し思いやりの心や良好な人間関係を育むことができるよう各事業の推進に努めました。

・えにわ赤ちゃん登校日

実施日：平成30年7月3日、平成30年7月4日、平成30年7月5日

：平成30年9月13日、平成30年9月14日

：平成30年10月17日、平成30年10月18日

会 場：柏陽中学校

対 象：柏陽中学校3年生 79人 赤ちゃん親子 43組

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：恵北中学校 平成30年7月7日、平成30年7月10日

会 場：恵北中学校

対 象：恵北中学校1・2年生 120人

・教職員等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：平成30年8月8日

会 場：恵庭市民会館 中ホール

対 象：市内小中学校教職員等 29人

・市民等対象 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施日：平成30年8月9日

会 場：恵庭市生涯学習施設 かしわのもり、恵庭市役所 会議室

対 象：市民 市職員等 47人

目標15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

社会が急速に変化する中で、市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうらおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・コミュニティスクール事業 (P. 165)

- ・恵み野小学校区 7事業、活動日数 12日、参加者数 延1,034人
- ・島松小学校区 8事業、活動日数 17日、参加者数 延636人

・通学合宿事業

・通学合宿支援

実施地区	宿泊日数	参加人員	実施場所
恵み野通学合宿	1泊2日	15	恵み野憩の家
柏地区通学合宿	5泊6日	25	柏木中央会館
島松通学合宿	2泊3日	23	島松憩の家
若草地区通学合宿	3泊4日	22	柏陽憩の家
恵庭地区通学合宿	4泊5日	30	恵庭市青少年研修センター

・市民講座・公民館サークル活動の充実 (P. 172)

(単位：講座、人)

講座事業名	事業数	受講者数
市民講座	16	324
I T 講習会	12	58
日曜趣味講座	3	24

(単位：日、人)

教室事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	3	74
みんなで楽しむ ピアノコンサート	2	130

・子ども塾 (P. 168)

延事業回数 9回、延実施日数 11日、延参加者数 244人

・青少年研修センター利用状況 (P. 167～168)

(単位：日、人)

区分	開設日数	延利用人数	日平均利用人数
30年度	331	8,115	24
29年度	327	8,962	27
比較	4	△ 847	△ 3

●読書活動による青少年の育成

ブックスタートで本と出合った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業 (P. 172～173)

(ブックスタートパックを9～10ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：598人、配布パック数：487個

・ブックスタートプラス事業 (P. 172～173)

(絵本とガイドブックを1歳6ヵ月児健診を受診する親子に配布)

・対象乳児：629人、配布パック数：492個

・私立幼稚園等図書環境整備支援 (P. 172～173)

・私立幼稚園及び認可外保育施設 11施設 418千円

・読み聞かせ活動の推進 (P. 172～173)

(おはなし広場開催状況) (単位：回、人)

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	76	692	9.1
恵庭	29	274	9.4
島松	24	87	3.6
計	129	1,053	8.2

・家読推進及び講演会事業

・「絵本作家 手島 圭三郎氏 家読講演会」 参加者49名

・小・中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 582人 (小学校197人、中学校385人)

・作品点数 528点 (小学校196点、中学校332点)

・小・中学校学校司書の配置 (P. 156・160)

・市内13小中学校に各1名配置 (和光小 2名)

・小・中学校の図書の充実 (P. 156・160)

1) 小学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	30年度	29年度	増減
貸出冊数	245,442	261,691	△ 16,249
一人当貸出数	63.8	68.2	△ 4.4
蔵書冊数	80,782	81,973	△ 1,191
一人当蔵書数	20.1	21.4	△ 1.3

2) 中学校学校図書館の現況 (単位：冊)

	30年度	29年度	増減
貸出冊数	44,449	45,313	△ 864
一人当貸出数	22.9	22.8	0.1
蔵書冊数	58,934	61,574	△ 2,640
一人当蔵書数	29.6	31.0	△ 1.4

目標16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 152)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学校名	事業内訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、児童の登下校時の安全対策、総合学習、学校支援地域本部事業、集会活動、学校課題研究発表	573 (423)
島松小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、集会活動、地域素材を生かす教育活動、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	518 (518)
柏小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、ふれあい広場、校地内での体験活動、読書環境整備、交通安全意識啓発運動、総合学習、いじめ・不登校対策研究、学校支援地域本部事業、教材園での栽培、学校課題研究発表	487 (474)
和光小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、集会活動、わ・和・輪スクール、学校支援地域本部事業、総合学習	451 (451)
松恵小学校	学校農園活動、学校花壇活動、体力づくり運動、基礎学力定着の推進、国際理解教育の推進、総合学習、鮭飼育学習、集団づくり、学校支援地域本部事業、情報図書室まつり	233 (233)
若草小学校	総合学習・生活科授業、児童会活動、鮭飼育学習、学校花壇整備、学校支援地域本部事業、若草ふれあいスクール、学校力向上総合実践事業	369 (369)
恵み野小学校	花いっぱい運動、鮭飼育学習、恵み野小まつり、校舎内外の教育環境の整備充実、総合学習、学校支援地域本部事業	243 (243)
恵み野旭小学校	児童会活動、鮭飼育学習、環境整備作業、基礎学力向上、総合学習、ICT活用、学校課題研究発表、学校支援地域本部事業、体力向上	304 (304)
恵庭中学校	吹奏楽演奏活動・楽器購入、総合学習、鮭稚魚飼育・ふるさと教育、PTAや町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業、生徒会活動の充実	650 (650)
恵北中学校	生徒会活動、花いっぱい運動、鮭稚魚飼育、総合学習、学校支援地域本部事業、地域行事参加・文化祭活動、特別支援教育支援事業	313 (313)
恵明中学校	総合学習、鮭稚魚飼育、花壇整備の活動、生徒会活動の充実、地域住民・保護者・生徒の交流事業、吹奏楽部の充実・楽器整備、学校課題研究発表、学校支援地域本部事業	870 (870)
柏陽中学校	学校花壇及びフラワーロード整備活動、鮭稚魚飼育、体育祭・柏陽祭・学級行事の自主的生徒活動の推進、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	431 (411)
恵み野中学校	学校緑化推進・環境美化奉仕活動、鮭稚魚飼育、生徒会活動、情報教育の推進、中庭整備、総合学習、学校支援地域本部事業、学校課題研究発表	572 (572)
合 計		6,014 (5,831)

●教育環境の整備促進

・幼稚園・認定こども園

(平成31年3月1日現在)

区 分	年齢別の入所児童数				
	満3歳	3歳	4歳	5歳	合 計
恵庭幼稚園	0人	69人	71人	70人	210人
島松幼稚園	0人	30人	29人	29人	88人
クラーク幼稚園	42人	85人	83人	75人	285人
第二かしわ幼稚園	18人	60人	70人	74人	222人
恵み野第二幼稚園	11人	34人	52人	48人	145人
恵み野幼稚園保育園	6人	34人	45人	46人	131人
柏学園ひまわり幼稚園保育園	23人	51人	67人	62人	203人
さくら保育園	2人	18人	18人	14人	52人
えほんの森	0人	16人	20人	19人	55人
幼稚舎えるむ	1人	18人	12人	12人	43人
えにわスマイル保育園	0人	9人	12人	10人	31人
かしわ幼稚園保育園	14人	45人	51人	42人	152人
合 計	117人	469人	530人	501人	1,617人

・特別支援教育の推進 (P. 150～152)

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1) 学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校13校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ 13校に27名を指名

2) 巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員
(専門委員4名)

3) 学校補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	8	14	1日4時間、週5日間、 年間35週間	通常学級在籍で特別の支援を必要としている児童生徒
中学校	5	6		

4) 特別支援学級補助員配置状況

(単位：校、人)

区 分	配置校	補助員数	勤務内容	対 象
小学校	6	10	週29時間勤務	特別支援学級在籍で介助を必要としている児童生徒
中学校	5	5		

5) 特別支援教育の振興 (就学先決定状況)

(単位：校、学級、人)

区 分	特別支援 学校	特別支援学級						言語 通級 学級	発達 通級 学級	合 計
		情緒	知的	肢体	難聴	病弱	計			
新入学児童	1	2	2	2	0	0	6	0	0	7
小学校在学	0	8	11	0	0	0	19	20	2	41
新入学生徒	0	5	7	2	1	0	15			15
中学校在学	0	1	1	0	0	0	2			2
計	1	16	21	4	1	0	42	20	2	65

・児童生徒の相談体制の充実 (P. 150)

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。

1) 非行少年の状況

(単位：人)

区分	30年度			29年度			比較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小学生	15 (6)	10 (4)	25 (10)	17 (2)	4 (2)	21 (4)	△ 2 (4)	6 (2)	4 (6)
中学生	32 (7)	1 (0)	33 (7)	44 (6)	3 (0)	47 (6)	△ 12 (1)	△ 2 (0)	△ 14 (1)
高校生	1 (0)	0 (0)	1 (0)	4 (0)	2 (1)	6 (1)	△ 3 (0)	△ 2 (△1)	△ 5 (△1)
有職無職青年	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他学生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	48 (13)	11 (4)	59 (17)	65 (8)	9 (3)	74 (11)	△ 17 (5)	2 (1)	△ 15 (6)

* () 内は女子数

2) 電話相談件数

相談件数 2件 (前年度比△15件)

3) スクールカウンセラー活用事業

・スクールカウンセラーの配置 (6名)

拠点校：13校 (市内全小中学校)

勤務時間数：中学校722時間 (内、北海道スクールカウンセラー派遣事業：520時間)

小学校771時間、市民会館での教育相談22時間

相談内容別相談件数

(単位：件)

相談内容	いじめ	不登校	友人関係	家庭環境	その他	合計
相談件数	10	257	73	194	1272	1,806

相談者別相談件数

(単位：件)

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合計
相談件数	238	346	557	665	1,806

4) 不登校児童生徒の適応指導教室

・指導員の配置 専任3名

・通室状況 小学生2人・中学生33人通室

・学校復帰 完全復帰5人、不定期登校・別室登校5人

5) メンタルフレンド事業

・不登校対策として、学生等ボランティアとスクールカウンセラーが相談役となり、ひきこもり等の児童生徒の自主性、社会性の向上に取り組みました。

ボランティア登録者数 (北海道文教大学・北海道ハイテクノロジー専門学校の学生)

23名 (女性18名、男性5名)

派遣実績：中学生3件…メンタルフレンド3名派遣

6) なかよしさわやかDAY全市交流会

- ・「いじめをなくすためにみんなでできること」をテーマに、市内小中学校の代表者が一堂に会し、グループ協議、発表を行いました。

実施日：平成30年7月17日 参加者105人（うち小学生39人、中学生19人）

・ **学力向上推進事業（P.152～153）**

- ・ 学力・体力向上推進会議の設置

委員：8名 開催日：7月25日、9月11日、2月15日

- ・ 学力向上アドバイザーの設置 1名
- ・ 標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）
- ・ 英検IBA（英語力の測定）の実施（中学校2年生）
- ・ 地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体
体育授業等実技支援 2団体（延べ8校、52回）

・ **小・中学校環境整備事業（P.157～159・162～163）**

- ・ 恵庭小学校講堂防音機能復旧事業 28,730千円
- ・ 若草小学校校舎防音機能復旧事業 97,152千円
- ・ 恵み野旭小学校トイレ改修事業 109,888千円
- ・ 恵庭小学校長寿命化改良事業 8,563千円
- ・ 和光小学校校舎・講堂煙突石綿対策事業 21,994千円
- ・ 柏陽中学校講堂床改修事業 23,067千円
- ・ 恵庭中学校校舎・講堂煙突石綿対策事業 22,911千円
- ・ 恵み野中学校トイレ改修事業 61,917千円

・ **ICT教育環境整備事業（P.156・160～161）**

75,792千円

市内小中学校に電子黒板を整備

島松小学校、柏小学校、松恵小学校、恵み野小学校 48台
恵北中学校、恵明中学校 34台

・ **教育用コンピューター機器整備事業（P.156・160～161）**

22,475千円

柏小学校、恵庭中学校の教育用パソコンのタブレット化（82台）

・ **学校における食農教育の推進（P.154～155）**

一般財団法人恵庭市学校給食協会に学校給食事業を業務委託し、市内小・中学校の完全給食を実施しました。また、栄養教諭の授業による食育の推進、家庭への「給食だより」「しょくいく」配布や給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

- ・ センター稼働日数 203日、実施学校 市内全校（8校）

<実施状況>

（単位：回、食）

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食数	761,404
実施回数	182 ～189	186 ～194	187 ～194	187 ～196	186 ～192	181 ～191		

2) 中学校給食

<実施状況>

- ・ センター稼働日数 197日
- ・ 実施学校 市内全校（5校）

学年	1年生	2年生	3年生	食数	376,929
実施回数	188 ～195	186 ～188	173 ～180		

3) その他

- ・ 給食だより・しょくいく発行：毎月発行4月～3月（12ヵ月）
- ・ 協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報
- ・ 市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報

目標17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携や、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

- ・ **地区会館改修事業 (P. 171)**
 - ・ 有明会館改修工事 6, 2 2 1 千円
- ・ **東恵庭会館防音機能復旧事業 (P. 171)**
 - ・ 老朽化したボイラー等の機能復旧 3 3, 1 7 6 千円
- ・ **市民会館設備改修事業 (P. 171)**
 - ・ 市民会館大ホールの吊物設備改修 6 1, 9 1 6 千円

・ 図書資料の充実 (P. 172~173)

1) 蔵書冊数の現況 (単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	170,959	41,015	211,974	10,875	222,849
恵庭	33,608	17,070	50,678	1,246	51,924
島松	24,309	10,234	34,543	654	35,197
計	228,876	68,319	297,195	12,775	309,970

2) 貸出状況 (単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	122,556	281,576	145,348	38,166	465,090	304	1,529.9
恵庭	36,603	83,916	67,103	4,724	155,743	297	524.4
島松	13,090	36,614	18,751	2,079	57,444	297	193.4
黄金	2,004	1,987	866	272	3,125	335	9.3
かしわ	957	1,253	301	49	1,603	335	4.8
北高	45	103	24	1	128	-	-
南高※1	22	76	0	0	76	-	-
計	175,277	405,525	232,393	45,291	683,209	-	2,261.8

※絵本、紙芝居は児童書に含む

※1恵庭南高ブックライン

3) 団体貸出状況 (単位：冊)

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	364	117	17,282
恵庭			8,387
島松			1,112
計			26,781

4) レファレンス(資料相談)状況

区分	件数	(単位：件)
本館	19,632	
恵庭	8,764	
島松	6,177	
計	34,573	

5) 予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料 の受付件 数	未 所 蔵									計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	小中学校	
本館	5,305	396	172	141	242	39	1	0	0	0	991
恵庭	4,389	268	75	35	53	0	2	4	0	0	437
島松	3,655	179	38	27	44	0	0	0	0	0	288
計	13,349	843	285	203	339	39	3	4	0	0	1,716

6) インターネット予約サービス

・受付件数：26,833件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 14,460冊
- ・学校間の貸出冊数 2,763冊

・長寿大学の推進

生涯学習社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいづくりと健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

・授業日数 20日 ・学生総数 224人

・えにわ学講座の推進

多様なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

・開催日数 2日 ・参加者数 55人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

(文教大学公開講座)

・27講座 564人受講

(近畿大学公開講座)

・1講座 64人受講

・家庭教育支援事業

子どもと親との関わり方や家庭教育について考え、交流する機会を提供し、家庭内教育力の向上を図りました。

・えにわままっぷ 平成31年2月23日 参加者数 32組60人

・女性教育振興事業

女性の積極的社会参加や市民活動への関心を深め、女性による活発な活動によって地域活性化を図るためセミナー等を開催しました。

- ・女性団体活動者研修会 平成30年 7月25日 参加者数 38人
- ・女性人材育成セミナー 平成31年 3月12日 参加者数 18人
- 平成31年 3月25日 参加者数 15人

・生涯学習施設かしわのもり利用状況

開館日数 335日 利用人員 43,372人

利用内容 スポーツ練習場 32.2% 子どもひろば 23.7%

子育て支援 22.7% その他 21.4%

・夢創館の活用 (P. 165)

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	359日	利用団体数	179団体
利用人数	11,094人	利用日数	166日

- ・指定管理者
開催文化事業
おんがくとたいせつなものチェンバロで聴く名曲 (参加者43人)
オーロラ上映 私たちに語りかけるすてきなメッセージ (参加者100人)
山太のカゲエオモチャバコ (参加者82人)
- ・連携等事業
小中学校書写展 (参加者1,205人)
夢創館コンサートV (参加者125人)
三匹のこぶたちちゃん平成道産子恵庭落語会 (参加者100人)

・郷土芸能団体の育成 (P. 164)

郷土芸能団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・恵庭すずらん踊り保存会事業補助金 145千円
- ・恵庭岳太鼓保存会補助金 121千円

・史跡カリンバ遺跡の整備

カリンバ遺跡について、今後の史跡整備と土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、水文環境調査・分析を行いました。また、史跡保護等の啓発を目的に花壇の整備や講演会、体験学習等のイベントをボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等 (P. 170)

9,192千円

- ・発掘調査等

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE2遺跡外7遺跡	個人住宅建設等	208㎡	縄文	約33,000点

・郷土資料館の運営・事業 (P. 168~169)

- ・入館者数 7,721人 (前年度比△276人)

(学習会等開催状況) (単位：人、回)

区分	30年度	29年度	比較
学習会参加者数	964	1,168	△204
(同開催回数)	(22)	(25)	(△3)

- ・郷土資料館屋根塗装工事 2,646千円

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

文化団体を育成支援し、市民が芸術活動を発表する場や機会などの環境を整備するとともに、芸術鑑賞機会の拡充を図りました。

・芸術鑑賞機会の充実

- ・えにわ市民文化祭出展・出演状況 (開催日：平成30年10月12日～11月3日)

(単位：団体、人)

会場		団体数	個人数	入場者数
市民会館	展示発表	46	500	1,324
	舞台発表	31	454	2,538
島松公民館	展示発表	10	101	1,765
	舞台発表	20	332	2,100
夢創館	展示発表	2	32	237

・文化団体の育成支援 (P. 164~165)

文化団体を育成し活動を安定的なものにするため支援しました。

- ・ 恵庭市文化協会補助金 350千円
- ・ 文化活動奨励補助金 (3団体) 873千円

・えにわ芸術文化宅配事業 (P. 164~165)

市民に地元作家の芸術作品の鑑賞機会を提供する事業であり、登録作品のリストを作成し、貸出業務を行いました。

- ・ 登録作品数 ~ 絵画：42点、書：25点、写真：45点、パッチワーク24点
- ・ 展示箇所 ~ 40箇所 (工場、金融機関、飲食店、事業所等)

・学習支援体制の充実

市民の一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるよう、関係機関や団体と連携して学習機会や学習情報の提供、指導者の養成や学習ボランティア活動への支援や人材の育成に努めながら、総合的な学習活動の推進を図りました。

・海外都市交流の促進 (P. 69)

- ・ 姉妹都市ティマル市10周年記念事業の実施
- ・ 姉妹都市ティマル市との図書交流
- ・ 姉妹都市ティマル市との絵画交流
- ・ 姉妹都市ティマル市サウスキャンタベリー博物館視察事業の実施

・恵庭市史の編さん (P. 55~56)

8,461千円

恵庭市史編さん委員会の開催

- ・ 第1回恵庭市史編さん委員会 平成30年 6月29日 出席者 8名
- ・ 第2回恵庭市史編さん委員会 平成30年11月21日 出席者10名
- ・ 第3回恵庭市史編さん委員会 平成31年 2月21日 出席者10名

資料収集

- ・ 平成30年度中収集資料 216点 (寄贈・資料提供含む)

執筆原稿の校正

- ・ 恵庭市の気候、地形・地質、福祉行政、社会福祉、社会保険制度、医療、消防、治安と防犯、交通安全、戦前の教育、義務教育、高等教育機関、幼稚園等に係る原稿の校正

市民の理解と協力の取り組み

- ・ 広報えにわ「恵庭の歴史を歩く」等掲載 年7回

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標18 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

J R 駅周辺を地域拠点として位置づけ、都市機能の集積を目指すとともに、郊外部における新たな市街地開発を抑えたコンパクトなまちづくりを進めました。

・恵庭駅西口土地区画整理事業 (P. 248)

113,444千円

道路整備に支障となる建物の移転補償を行い、都市計画道路整備を推進しました。

・島松駅周辺再整備事業 (P. 138)

33,936千円

「人にやさしいまち島松」を目指し、島松駅周辺のバリアフリー化及び都市機能の集約を図るため、北海道運輸局、J R 北海道、恵庭市の3者で構成される“恵庭市生活交通改善事業計画策定協議会”による各種事業を進めています。

平成30年度は、自由通路及び駅前広場の基本設計等を行いました。

・バリアフリー特定事業 (P. 135)

89,775千円

バリアフリー基本構想に基づき、公共施設や都市公園、商業施設及びその経路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

島松中通 (歩道) L = 132m W = 3.0m × 2

島松駅通 (歩道) L = 235m W = 2.5m × 2

・西島松地区基礎調査事業 (目標13に別掲)

西島松地区において、地区の現況等の基礎調査を行い、土地利用の促進を検討しました。

・調査面積 A=6.7ha

目標19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 152)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 平成30年9月26日～9月30日 応募総数683作品
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作13名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 129～130・139～140)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ19本、ハスカップ188本
- ・市民植樹 公園・緑地帯 アジサイ95本
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・国道36号
- ・公共施設花樽設置事業 市庁舎・支所・出張所、図書館等各施設
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校3・4年生 ハスカップ20本

・街路樹剪定事業 (P. 138～139)

14,572千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的に剪定を行い、快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 133～134)

1,789千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かで潤いのある街づくりを推進しました。

平成30年度実施団体：38団体

・公園施設長寿命化改修事業（社会資本整備総合交付金事業） (P. 138～139)

18,868千円

公園遊具改修 4公園4施設

・街区公園美化活動助成金 (P. 138～139)

1,701千円

助成対象町内会 16町内会 30公園

・河川愛護会補助金 (P. 137)

143千円

・千歳川流域の治水対策の促進

千歳川河川整備計画に基づき、千歳川流域治水対策の早期実現に向けて国、道、流域自治体が連携して治水対策を進めました。

・恵庭かわまちづくり事業 (P. 64)

29,725千円

花の拠点関連事業として公園と一体化する河川・水辺の環境・景観形成を図ります。

- ・用地買収 A≒0.06ha、樹木伐採工、残土運搬敷均

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

- ・火葬場改修事業 (P. 110) 7, 968千円
 恵浄殿改修計画に基づく改修
 - ・ 1号炉・2号炉 耐火ベッド交換
 - ・ 2号炉、3号炉 燃焼炉セラミック1層張替え及び中煙道補修

- ・市外火葬場利用助成事業 (P. 147~148) 289千円
 恵浄殿火葬炉に空きがなく、やむを得ず市外火葬場を利用した場合の助成

- ・新墓園整備事業 (P. 287) 106, 530千円
 - ・ 恵庭第4墓園北エリア緑地整備工事
 - ・ 恵庭第4墓園北エリアトイレ新築工事
 - ・ 植樹祭に係る経費

- ・墓園改修事業 (P. 287) 15, 066千円
 - ・ 恵庭第1墓園改修 (車道、花壇、階段、水汲み台)
 - ・ 恵庭第3墓園改修 (張芝)

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設が設置されていることにより生じる障害を防止し周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・ 障害防止(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第1項)
- ・ 防音(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項)
- ・ 民生安定施設整備(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条)

(単位：千円)

事業名	種別	事業費	補助金	その他
恵庭地区用水対策事業費	障害防止	97,507	97,507	0
恵庭小学校講堂防音機能復旧事業費	防音	28,508	25,656	2,852
若草小学校校舎防音機能復旧事業費	防音	84,595	76,134	8,461
東恵庭会館防音機能復旧事業費	防音	11,289	11,289	0
焼却施設整備事業費	民生安定	1,062,781	531,692	531,089
花の拠点整備事業費	民生安定	124,254	64,188	60,066
合計		1,408,934	806,466	602,468

※事業費は補助事業費とし、補助基本額以外の関連事務経費を含む。

・国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区分	交付額(千円)
30年度	250,238
29年度	250,739
比較	△ 501

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第9条) (P. 20)

区 分	交付額(千円)
30年度	342,207
29年度	328,416
比 較	13,791

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進 (単位：千円)

事 業 名	事業費	調整交付金	その他
道路整備事業	102,141	91,805	10,336
消火栓更新整備事業	5,148	4,600	548
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	48,502	48,502	0
スクールバス更新整備事業(基金造成)	7,100	7,100	0
ICT教育整備事業(電子黒板)(小・中学校)	59,732	55,400	4,332
小学校パソコン教室機器更新整備事業	11,448	10,766	682
消防団資器材整備事業	2,381	2,245	136
消防用資器材整備事業	3,234	2,956	278
学校給食センター厨房用設備更新事業	12,420	11,700	720
恵庭水泳プール改修事業	10,595	10,050	545
消防広報車整備事業	5,201	4,679	522
花の拠点整備事業(松園線)	8,899	7,700	1,199
恵明中学校放送機器整備事業	12,513	11,655	858
子ども発達支援センター暖房設備改修事業	573	524	49
ごみ破碎機整備事業	45,360	45,360	0
道路維持作業車整備事業	2,620	2,500	120
恵浄殿改修事業	7,968	7,316	652
中学校パソコン教室機器更新整備事業	11,027	9,849	1,178
定置式凍結防止剤散布装置購入事業	7,870	7,500	370
合 計	364,732	342,207	22,525

※事業費には調整交付金基本額以外の関連経費を含む

・ 再編交付金事業(駐留軍等の再編の円滑な実施に関する特別措置法) (P. 20)

(単位：千円)

事 業 名	事業費	再編交付金	その他
広報車両整備事業	3,053	2,970	83
防犯パトロール車両整備事業	1,826	1,730	96
放置自転車車両整備事業	3,035	2,866	169
不法投棄パトロール車両更新整備事業	2,530	2,400	130
消防用資機材整備事業	4,055	3,718	337
防災備蓄品等整備事業	5,821	5,258	563
ICT教育整備事業	16,060	15,134	926
合 計	36,380	34,076	2,304

※事業費には再編交付金基本額以外の関連経費を含む

目標20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 133~134)

区分	延長 (km)						出動日数(日)	
	車道(直営)	車道(委託)	車道計	歩道(直営)	歩道(委託)	歩道計	直営	委託
30年度末	154.5	386.8	541.3	50.3	139.0	189.3	41	12
29年度末	154.5	385.6	540.1	50.3	139.0	189.3	37	11
比較	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	4	1

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪弱者に対し、地域ぐるみのボランティアなどによる支援を進めました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第2次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・新公共交通システムの構築 (P. 57~58)

84,280千円

えにわコミュニティバスの再編及び乗合タクシー運行地域の見直しを行い、実証運行を行いました。バスはルートの変更及び運行便数の大幅増により、より利用しやすくなりました。

・地域公共交通活性化協議会 : 3回開催

(えにわコミュニティバス運行状況)

路線	便数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・ 定期券収入(円)
A・Bコース	46便(27便)	299,270	819.9	50,587,222

(乗合タクシー運行状況)

便数	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券 収入(円)
7便	9,543	32.6	1,479,050

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 57・298)

恵庭駅東・西口、島松駅及び恵み野駅東口駐車場の区画線塗布を実施しました。

また、恵庭駅東口の自転車駐輪場の再整備を行い、より多くの駐輪が可能となりました。

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	35,703
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	125	23,593
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	30,870
恵み野跨線橋高架下東	3,977	H21.1.1	72	22,993
恵み野跨線橋高架下西	3,305	H21.1.1	73	9,738
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	34,864

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口	456	恵み野駅	東口	738
	西口高架下	396		西口	400
	西口屋内	550	島松駅		422

・放置自転車対策 (P. 57)

1,009千円

●橋梁耐震化など生活道路の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備により地域間の連携を図るとともに、道路改良や維持修繕、歩道の整備により、安全な交通の確保と沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 135～136)

- 1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業) **102,141千円**
 4路線、改良舗装工事 L = 665.41m
- 2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業) **75,985千円**
 3路線、改良舗装工事他 L = 506.60m

市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
30年度末	533,723	393,576	73.7
29年度末	532,584	391,521	73.5
比較	1,139	2,055	0.2
増加率(%)	0.2	0.5	0.3

・道路補修事業 (P. 133～134)

- 1) 道路舗装補修事業 **88,269千円**
 恵み野地区・柏陽地区 車道オーバーレイ A = 10,134m²
 歩道舗装補修 A = 3,677m²
- 2) 道路施設補修事業 **13,889千円**
 道路排水施設の実施
- 3) 道路附属施設補修事業 (社会資本整備総合交付金事業) **16,869千円**
 照明灯修繕20基 (自立式16基、電柱共架式4基)

	既設照明柱数 (基)	うちナトリウム灯 (基)	うちLED灯 (基)	電力使用料 (千円)
30年度	2,128	1,404	150	49,573
29年度	2,149	1,429	134	47,648
比較	△21	△25	16	1,925

・橋梁長寿命化事業 (P. 133～135)

- 190,274千円**
 橋梁補修工事3橋、橋梁補修設計2橋 (172,714千円)
 橋梁点検4橋 (17,560千円)

・市道補給処前線交差点改良事業 (p. 135)

- 38,392千円**
 渋滞緩和のため、用地取得及び交差点改良工事を実施し、右折車線を設置しました。

・南26号交差点改良事業 (P. 136)

- 5,076千円**
 渋滞緩和のための右折車線設置に向け、測量設計を行いました。

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信

自転車に関する関心を高め、自転車道線の整備促進を図るとともに、恵庭を知って、見て、感じてもらい、地域活性化を図ることを目的とした自転車イベントを開催しました。

- ・サイクルフェスタ・恵庭2018：平成30年9月2日
 参加者221人 (市内41人、市外179人、道外1人)

目標21 安定した水供給と持続的な下水処理

人口減少社会を見据えた効率的な事業運営のため、安全で良質な水道水源の確保と保全の維持及び、下水の適正処理と下水道資源の有効活用に努め、持続可能な循環型社会の構築を目指しました。

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

将来推計人口や現状施設の状況を見据えた事業計画に基づき、平成30年度も効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

- ・ 恵庭市水道ビジョン(平成24年4月策定 計画期間 平成24年度～令和3年度)
- ・ 恵庭市水道事業経営戦略(平成27年4月策定 計画期間 平成27年度～令和6年度)
- ・ 恵庭市公共下水道事業基本計画(平成29年3月策定 計画期間 平成29年度～令和2年度)
- ・ 恵庭市下水道事業経営戦略(平成30年5月策定 計画期間 平成30年度～令和9年度)
- ・ 恵庭市上下水道一体の事業診断による経営の効率化推進調査委託実施(平成30年度)
(今後当該調査結果を元に経営の効率化推進策の具体的な検討をする)

●長寿命化事業・耐震化事業・分流化事業による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 348～350)

- 1) 配水管布設工事 48,186千円
・ φ50～φ100 L= 1,653.0m
- 2) 配水管布設替工事 228,092千円
・ φ50～φ150 L= 4,268.4m
- 3) メーター取替工事等 60,705千円
・ 検満メーター取替 4,715個
- 4) その他工事(修繕引当金) 63,744千円(税抜き)
・ 恵庭市水道事業柏木配水池改修工事委託、量水器室改修工事

・緊急貯水槽整備(目標13に別掲)

- ・ 花の拠点貯水槽実施設計

・下水道管渠等の整備 (P. 405)

391,393千円

- ・ 污水管整備(分流化)、合流管更生工事(長寿命化)、公共柵等整備(柵新設)、マンホールポンプ設置(新設)

[泉町、桜町、本町、漁町、相生、住吉、緑町、福住、南島松外]

分流化	:	污水管φ150～φ300mm	L=2,412.44m
長寿命化	:	雨水管φ250、φ300mm	L=148.93m
柵新設	:	污水柵新設	N=12基
マンホールポンプ	:	污水水中ポンプ新設	1箇所

・ **公共下水道 整備及び水洗化状況**

区 分	平成30年度末	平成29年度末	比 較
認可区域 (ha)	1,881.4	1,865.2	16.2
整備済区域 (ha)	1,853.7	1,850.0	3.7
整備率 (%)	98.5	99.2	△ 0.7
処理区域内人口 (普及人口) (人)	67,912	67,680	232
水洗化人口 (人)	67,776	67,531	245
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数 (戸)	21,107	20,878	229

・ **下水終末処理場整備事業 (P. 406)**

1) 長寿命化工事 **523,300千円**

・ 長寿命化工事計画に伴う建設工事委託に関する協定

2) 乾燥施設建設工事

・ 乾燥施設建設工事委託に関する協定

・ **個別排水処理施設整備事業 (P. 406) 18,106千円**

・ 新設 11基 (5人槽 8基、 7人槽 3基)

・ **マイクロガスタービンによる発電**

下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみを集約混合することで消化ガス発生量を増やし、そのガスを利用した場内発電を行うことで、エネルギーの有効活用を図りました。

・ 平成30年度発電量実績 1,490,246 kWh

目標22 住み続けたいなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕などを実施しました。

今後も、公営住宅ストックの有効活用と効率的かつ円滑な運用を目的に、耐久性の向上、維持管理の容易化、ライフサイクルコストの縮減に優れた改善事業を推進し、良質な居住水準を確保するとともに、公営住宅の担うべき役割を踏まえたストックの形成に努めます。

・市営住宅改修事業 (P. 140~141)

10,844千円

福住団地2号棟屋根外壁改修設計

給水メーター取替工事

(旭団地3号棟・5号棟)

火災警報器取替工事

(柏陽団地)

・市営住宅維持修繕委託業務(P. 140~141)

22,788千円

民間の専門業者への一括委託化により、初期対応及び緊急性の判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化が図られました。

・平成30年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S46~S52	328	1LDK, 2DK, 2LDK, 3DK
恵央団地	H15~H24	182	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52~S54	166	3DK
桜町団地	H3~H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53~S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54~S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41~S42	37	2DK
寿第3団地	S49~S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,162	

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業(P140~141)

8,404千円

建替基本計画(案)の作成及び民間活力導入可能性調査を実施しました。

目標23 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備

・焼却施設整備事業 (P.116~117・273~274) 1,436,666千円

最終処分場の延命化や可燃ごみの適正処理など、循環型社会の形成を実現する上で重要な役割を担う焼却施設の供用開始を令和2年度を目標として、焼却施設整備を実施しています。

また、前年度に引き続き、焼却施設の建設について周辺地域や市民を対象とした説明会を開催しました。

- ・説明会等の実施状況：説明会 4回 出席者59人
- 焼却施設等周辺地域連絡会議 1回 出席者21人

・ごみ破砕機整備事業 (P.114~115・273) 64,800千円

ごみ処理場へ搬入されるごみの減容化を図るためにごみ破砕機を購入しました。

●ごみ減量化の推進、資源リサイクルの推進

市民、事業者、行政の役割と協働により、ごみの減量化とごみ分別を徹底するとともに、資源リサイクルを推進し、環境保全と持続可能な資源循環型社会の形成を目指しました。

・家庭ごみ有料化事業・ごみ発生排出抑制対策の実施 (P.113~116)

1) 家庭ごみ有料化事業の実施

- ・ごみ減量率 24.88% (可燃・生ごみ・不燃・粗大・資源収集ごみ)
- ※有料化前の平成21年度対比

2) ごみ減量化や資源物収集に関する思想普及の取組み

- ・定期リサイクル啓発紙「もっともっとリサイクル」(年1回発行、256千円)
- ・ごみ減量・リサイクル推進地区懇談会 恵庭・恵み野・島松地区 計6回(参加者303人)
- ・ごみステーションシンポジウム「集合住宅のごみ出しマナーを考えよう」(11月20日)

3) ごみ分別変更に伴う説明会の開催

- ・家庭ごみ分別変更説明会(11回、参加者594名)
- ・粗大ごみ説明会(9回、参加者826名)

4) 資源回収奨励事業

区 分	数量	備考
集団資源回収量(t)	2,161	集団資源回収量内訳
資源物分別収集量及び直接搬入量(t)	2,557	紙類: 2,064.4 t
資源回収団体奨励金交付事業		(うち紙製容器) 73.7 t
実施団体	76	ペットボトル・ビン・缶:
交付額(千円)	6,699	64.4 t
資源物全体に対する割合(%)	45.8	その他: 32.5 t

5) 新ごみ分別事典製作事業

- ・焼却施設稼働に向けた新たな分別と排出方法をお知らせするため、新たなごみ分別事典を製作し、配布しました。

新ごみ分別事典のデザイン及び印刷・市内全戸配布 5,983千円

目標24 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについての調査、研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

ボランティア袋の配布

窓口	12,498枚
町内会	27,260枚

環境美化等推進員
登録件数

町内会	62町内会・自治会
人数	85名

集合住宅ごみ等
優良保管場所累計認定件数

件数	36件
----	-----

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：244日間（2人体制）

管理職パトロール：平成30年7月9日～9月3日の間の
12日間（延べ48人）

●地域に応じた自然環境の保護と管理

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査（P.109）

定期河川水質調査：市内7河川10カ所（年6回）、ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）

・自動車騒音常時監視委託（P.109）

面的評価：江別恵庭線 調査区間10.1Km（下島松～西島松、北柏木町～戸磯）

・動物管理（P.108）

犬の登録：215件、狂犬病予防注射済票：2,428件

・有害鳥獣駆除（P.108）

スズメ蜂駆除委託件数：137件

●省資源・省エネルギーの促進

「恵庭市 COOL CHOICE 宣言」に基づく地球温暖化対策に資する情報発信、環境省の補助金を活用した「地域と連携したCO2排出削減促進事業」、省エネ機器導入促進を目的とした「恵庭市低炭素まちづくり促進事業」等を実施しました。

・環境審議会の開催（2回）

恵庭市の環境、漁川流域に係る水道水源の水質の保全に係る条例、えにわ環境エネルギー展等について協議しました。

・恵庭市低炭素まちづくり促進事業（P.109～110）

省エネ関連機器を導入する市民を対象に奨励金を交付しました。

太陽光発電設備：12件、木質バイオマスストーブ：10件、ガスエンジンコージェネレーション：15件

・電気自動車等用急速充電器の運用（P.109～110）

設置場所：道と川の駅「花ロードえにわ」 利用件数：30件

・COOL CHOICEの取組み

- ・事業団体における講演会：1回
- ・啓発ポスターの作成：2回
- ・リーフレットの作成・配布：4回
- ・市内集客イベントへのブース出展による啓発：6回
- ・エコバス車体広告
- ・公用車車体広告
- ・イベント（環境・エネルギー展）の開催
- ・うちエコ診断の実施 2回
- ・個人・企業を対象にした賛同登録の募集（個人1,520件、企業4件）

